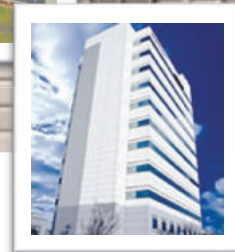


2015



公益財団法人 北九州産業学術推進機構

FAIS

Kitakyushu Foundation
for the Advancement of Industry,
Science and Technology

事業報告書／ANNUAL REPORT

はじめに

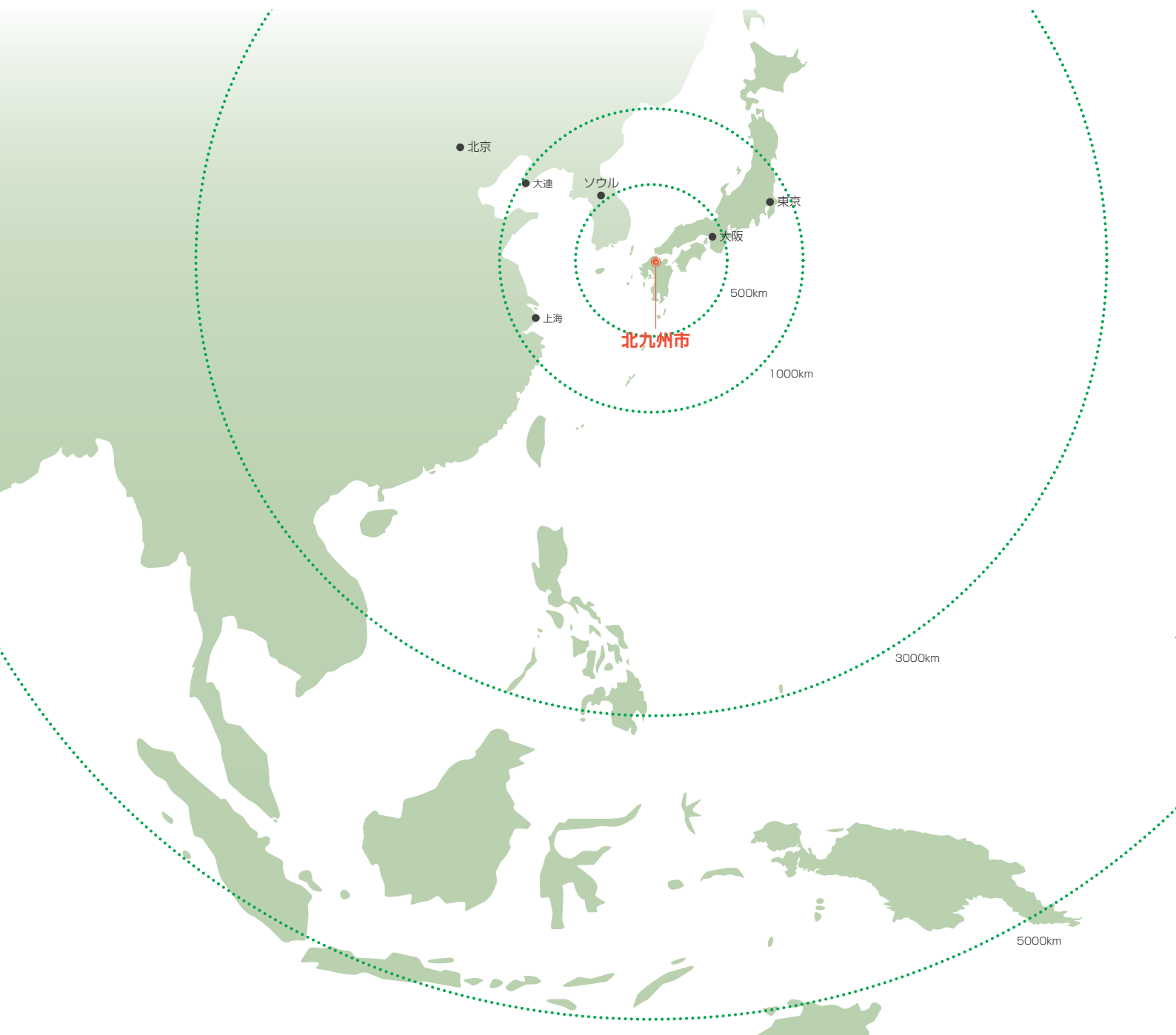
公益財団法人北九州産業学術推進機構^{フェイス} (FAIS) は、平成13年に地域の産業を支える知的基盤として開設された北九州学術研究都市を中心に、地域に集積する大学・研究機関と産業界の連携をコーディネートする機関として、また、中小企業・ベンチャー企業の総合的な支援機関として活動しています。

現在、北九州学術研究都市には、北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科、九州工業大学大学院生命体工学研究科、早稲田大学大学院情報生産システム研究科、福岡大学大学院工学研究科の1学部4大学院、その他に17の研究機関や、47の企業等が集積しています。

開設時には約300人だった学生数は、現在約2,300人となり、そのうち留学生は500人を超え、まさにアジアを中心とした各国からの頭脳が集まるキャンパスとなりました。

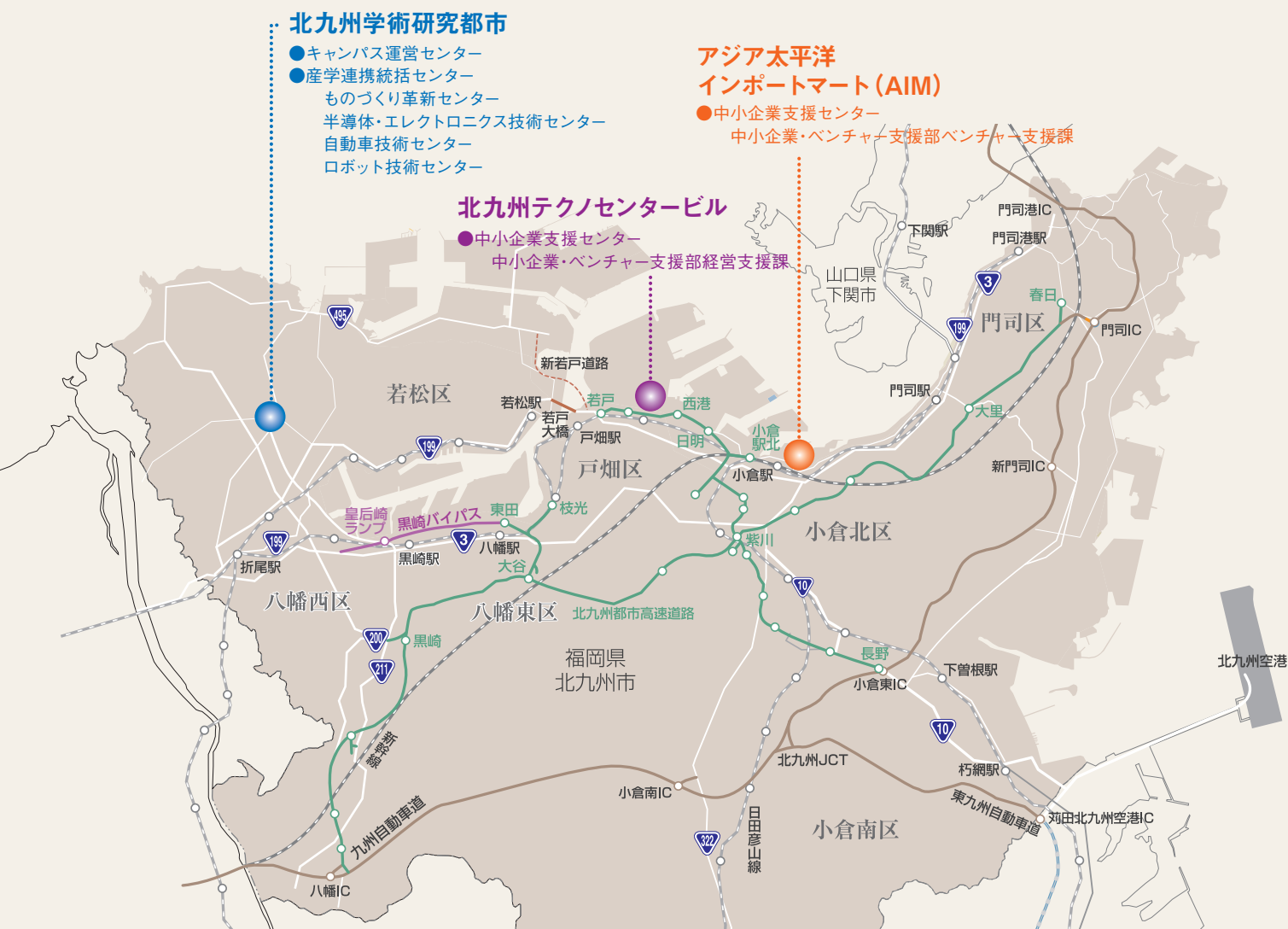
FAISは、この学研都市の一体的運営や産学連携の推進、地域中小企業の経営支援やベンチャー企業の創出・育成に取り組んでいます。

本事業報告書が、公益財団法人北九州産業学術推進機構の取り組みをご理解いただくための参考となれば幸いです。



目次

(公財)北九州産業学術推進機構について	1
学研都市の一体的運営	
北九州学術研究都市の概要	3
学研都市の進出大学、研究機関、 企業および産学連携施設	5
アジアの学術研究拠点の形成	9
地域交流・広報活動・施設の市民開放	11
産学連携の推進	
産学連携の取り組み(全体フロー)	13
情報収集・発信、産学交流の促進	13
研究成果の特許化と技術移転《北九州TLOの運営》	16
研究開発支援	17
技術拠点化の推進	22
中小企業・ベンチャー企業の総合的支援	
中小企業の総合的支援	25
ベンチャー企業の創出・育成	26
財団運営	
評議員および役員名簿	27
決算資料	28
アクセスマップ	32



公益財団法人 北九州産業学術推進機構

フェイス

FAIS

Kitakyushu Foundation
for the Advancement of Industry,
Science and Technology

- 理事長／松永 守央
- 基本財産／2億円(全額北九州市出捐)
- 役員等構成／[学界] 学研都市参画大学副学長 市内理工系大学長等
[産業界] 商工会議所等経済団体
[行政] 北九州市、福岡県
- 職員数／66名(H28.5.1現在)、市派遣：12名、県派遣：1名、
民間出身等：31名(うち出向14名)、事務嘱託等：22名
- 平成27年度事業費(支出決算額)／19.8億円
(うち、国等の受託研究等約1.4億円)

北九州学術研究都市の
一体的運営

- 施設の管理・運営
- アジアの学術研究拠点の形成
海外大学等との共同研究支援
海外との交流協定
留学生支援
- 地域交流・広報活動

研究成果の
特許化、
事業化支援
北九州TLO

産学連携の推進

- 情報収集・発信、産学交流の促進
- 研究開発支援
- 技術拠点化の推進
半導体技術拠点化
自動車技術拠点化
ロボット技術開発拠点化

アジアに開かれた学術研究拠点

新たな産業の創出、技術の高度化

地域の産業・学術の振興

中小企業の
総合的支援、
ベンチャー企業の
創出育成

- 経営相談・専門家派遣・
販路開拓支援
- インキュベーション施設の
管理・運営

キャンパス運営センター

北九州学術研究都市内にある
共同利用施設の管理・運営を行う
とともに、進出大学間の連携・交
流を促進し、学研都市の一体的な
運営を行っています。



産学連携統括センター

先端科学技術分野の研究を行う大学・研究機関の知的基盤を活用した産学共同研究や技術移転のコーディネートを行い、産業技術の高度化や新産業の創出を促進しています。



- ◎産学連携のコーディネート
- ◎北九州学術研究都市の研究シーズの発信
- ◎産学交流の場の提供
- ◎産学共同研究プロジェクトの企画推進、研究成果の事業化支援
- ◎産学共同研究開発への支援
- ◎北九州TLOによる技術移転支援
- ◎地域イノベーション戦略支援プログラムの推進

ものづくり革新センター

従来型支援(市内企業・大学が提案・実施するプロジェクトの競争的資金獲得・運営等)に加え、激変するものづくりに対応すべく、「革新的ものづくり」を実現するプロジェクト創出、研究会運営等を通して、市内企業の産業競争力を強化支援します。

- ◎「革新的ものづくり」実現に向けた支援活動
- ◎研究開発支援
- ◎事業化支援

自動車技術センター

自動車産業の拠点化を推進するために、産学官連携による研究開発支援・人材育成を行っています。企業技術者と大学研究者のコーディネートによる研究会活動をベースに共同研究開発を促進するとともに、学研都市3大学による連携大学院「カーエレクトロニクスコース」、「インテリジェントカー・ロボティクスコース」の支援など、専門人材の育成に取り組んでいます。

- ◎研究開発支援
- ◎人材育成



▲自動車技術・ロボット技術・半導体技術の支援、拠点となる技術開発交流センター



▲自動車工学「エンジン分解・組立実演」の様子(協力:日産自動車九州㈱)

ロボット技術センター

北九州地域のロボット産業振興を目的とし、北九州ロボットフォーラムの運営をしています。ロボット技術の調査、開発から実証までのコーディネートや学研都市内の大学とロボット関連企業との共同研究開発を通して、ロボットの技術開発および実証の拠点化を進めています。また、市内企業へのロボット普及を推進するための導入支援事業や人材育成活動を実施しています。



▲車両洗浄ロボット

- ◎ロボット技術の調査、開発、コーディネート
- ◎実証化・事業化のコーディネート
- ◎人材育成
- ◎中小企業へのロボット導入支援

半導体・エレクトロニクス技術センター

半導体・エレクトロニクス産業の振興のため、新たなアプリケーションの創出を目指し、ベンチャー・中小企業等の支援、産学連携の促進、人材育成等の事業を展開しています。

なお、新商材の創出を目指すベンチャー・中小企業等支援の一環として、設計・評価・解析環境の提供も行っています。

- ◎半導体関連ベンチャー・中小企業の支援
- ◎産学連携の促進
- ◎半導体関連の人材育成(ひびきの半導体アカデミー)
- ◎ひびきのLEDアプリケーション創出協議会の運営



▲「新電子計測技術の世界」セミナー



▲技術交流会

中小企業支援センター

戸畑区中原新町2-1(北九州テクノセンター1階)

中小企業の経営革新・創業をワンストップで支援しています。創業や経営の改善・革新を目指す個人や中小企業の取り組みを支援するため、相談窓口、専門家派遣等のほか北九州知的所有権センターやインキュベーション施設である北九州テレワークセンター等の運営も行っています。



- ◎地元中小企業への総合支援
※総合相談窓口 ※専門家派遣
- ◎北九州知的所有権センターの運営



◎北九州テレワークセンターの運営

- ※インキュベーション機能の提供
- ※ビジネス展開の拠点の提供
- ※市民の情報リテラシー向上の場の提供
- 北九州テレワークセンター/
小倉北区浅野3丁目8-1AIMビル6F

学研都市の一体的運営

北九州学術研究都市の概要

北九州学術研究都市とは

北九州学術研究都市は、「アジアに開かれた学術研究拠点」と「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指し、理工系の国・公・私立大学や研究機関が同一のキャンパスに集積するという独自の試みとして、平成13年4月にオープンしました。現在、進出した大学が北九州学術研究都市の理念を共有して、先端的な科学技術、特に「環境技術」と「情報技術」を中心に活発な教育研究活動を展開しています。

大学等の『知』を活用した 地域の産業・学術の振興

アジアに開かれた学術研究拠点

新たな産業の創出・技術の高度化

新たな技術と
豊かな生活を
創り出す

**アジアの
先端産業都市
の実現**

(北九州市新成長戦略の目標)

北九州学術研究都市の特色

理工系の大学・研究機関、 研究開発型企业等を 同一のキャンパスに集積

◎国・公・私立大学(1学部4大学院)

北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科

九州工業大学大学院生命体工学研究科

早稲田大学大学院情報生産システム研究科

福岡大学大学院工学研究科

◎研究機関(17機関)

◎研究開発型企业等(47社)

(平成28年7月1日現在)

進出大学の教育・ 研究理念の共通化

◎先端的な科学技術分野での

教育・研究の展開

◎産学連携の促進

◎起業家精神の育成

◎アジアの学術研究拠点の形成

キャンパスの一体的な運営、 施設の共同利用

◎学研都市進出大学の代表者で

構成する「キャンパス運営委員会」による

共同事業の企画・立案

◎図書室、情報処理施設、利便施設の共同利用

研究者・教員・学生相互の交流と連携

◎進出大学による共同研究、教員等の交流

◎単位互換の実施

◎進出大学による連携大学院の運営

連携大学院カーエレクトロニクスコース

連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコース

北九州学術研究都市整備事業

◎整備の基本方針

北九州学術研究都市の開発は、周辺の自然環境や都市環境を活かしながら、先端科学技術に関する教育・研究機関の集積と良好な住宅街の供給を同時に行う『複合的な街づくり』として進めています。

◎開発地域／若松区西部・八幡西区北西部

◎開発総面積／約335ha

◎計画人口／12,000人(昼間人口)

住宅4,000戸

◎整備スケジュール

第1期事業(約121ha)

平成7年度～17年度 ※事業完了

事業主体:(独)都市再生機構

第2期事業(約136ha)

平成14年度～29年度

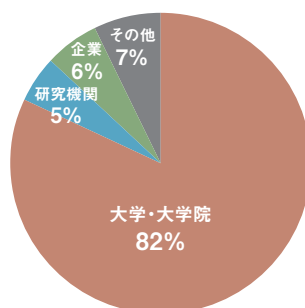
事業主体:北九州市

第3期事業(約68ha)

検討中

河川事業(約10ha)

【土地利用概略図】



北九州学術研究都市の昼間人口
(平成28年5月1日現在)

約3,300名

学生	2,329名 (うち留学生541名)
教員 ※専任教員のみ	158名 (うち企業出身者32名)
研究員	156名 (うち外国人研究員54名)

北九州学術研究都市整備のあゆみ

平成元年(1989年)		「北九州学術研究都市基本構想」策定
平成8年(1996年)	2月	「北九州学術・研究都市南部土地地区画整理事業」(第1期事業)着手
平成12年(2000年)	4月	「九州工業大学大学院生命体工学研究科」開設
平成13年(2001年)	4月	「北九州学術研究都市」オープン 「北九州市立大学国際環境工学部」開設
平成14年(2002年)	1月	「共同研究開発センター(産学連携センター2号館)」開設
	4月	「福岡大学大学院工学研究科」開設 「北九州学術・研究都市北部土地地区画整理事業」(第2期事業)着手
	5月	「情報技術高度化センター(産学連携センター3号館)」開設
平成15年(2003年)	4月	「北九州市立大学大学院国際環境工学研究科」開設 「早稲田大学大学院情報生産システム研究科」開設
平成17年(2005年)	4月	「事業化支援センター(産学連携センター4号館)」開設
平成18年(2006年)	6月	「北九州学術・研究都市南部土地地区画整理事業」(第1期事業)完了
平成20年(2008年)	7月	「技術開発交流センター(産学連携センター5号館)」開設
平成21年(2009年)	4月	「北九州学術研究都市連携大学院カーエレクトロニクスコース」開設
平成23年(2011年)		北九州学術研究都市 10周年
平成25年(2013年)	4月	「北九州学術研究都市連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコース」開設
	10月	「産業用ロボット導入支援センター」開設

学研都市の進出大学、研究機関、企業および産学連携施設

北九州学術研究都市進出大学・産学連携施設

1 北九州市立大学

国際環境工学部

■学生定員：1,000名
エネルギー循環化学科
機械システム工学科
情報メディア工学科
建築デザイン学科
環境生命工学科

大学院国際環境工学研究科

■学生定員：336名
環境システム専攻
環境工学専攻
情報工学専攻



2 九州工業大学大学院



生命体工学研究科

■学生定員：352名
生体機能応用工学専攻
人間知能システム工学専攻
生命体工学専攻

3 早稲田大学大学院



情報生産システム研究科

■学生定員：460名
情報アーキテクチャ分野
生産システム分野
集積システム分野

4 福岡大学大学院

工学研究科

■学生定員：32名
資源環境・環境工学専攻
エネルギー・環境システム工学専攻



学生数および教員数

(平成28年5月1日現在)

大学	学部	修士	博士	研究生	特別研究学生	学生数計	教員数
北九州市立大学	1,132	—	—	3	1	1,136	85
国際環境工学部	(17)	—	—	(3)	(1)	(21)	
北九州市立大学大学院	—	305	50	0	0	355	—
国際環境工学研究科	—	(58)	(38)	(0)	(0)	(96)	
九州工業大学大学院	—	283	143	0	3	429	41
生命体工学研究科	—	(25)	(47)	(0)	(2)	(74)	
早稲田大学大学院	—	350	57	0	0	407	30
情報生産システム研究科	—	(309)	(39)	(0)	(0)	(348)	
福岡大学大学院	—	2	0	0	0	2	2
工学研究科	—	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)	
合計	1,132	940	250	3	4	2,329	158
	(17)	(394)	(124)	(3)	(3)	(541)	

()内は留学生数

※産学連携センター内

A 産学連携センター

産学連携センター
1号館

産・学・官が手を組んで研究を進める中核施設

「公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター」などの研究機関や、最先端の研究を行う企業、「福岡大学大学院工学研究科」が入居しています。また、100人程度まで対応できる会議室や研修室なども提供しています。

- 貸研究室(31室)
- 研修室、会議室(中・小)

B 共同研究開発センター

産学連携センター
2号館

半導体微細加工技術の研究開発を支援する施設

企業や大学などが半導体製造関連分野の研究開発などを行う施設です。ICやMEMSの試作を行う研究開発機器の開放や研究室の提供などを行います。IC試作体験実習(CMOSプロセス)の受け入れも可能です。

- 貸研究室(7室)
- 共同利用のIC・MEMS向け微細加工装置群を設置
(イオン注入装置、電子ビーム描画装置、両面露光装置、高速熱処理装置(RTA)、ダイシングソー、ボンディング装置等)

C 情報技術高度化センター

産学連携センター
3号館

ネットワークや半導体設計に関する研究開発を行う施設

企業や大学などが高度な情報通信技術や半導体設計技術の研究開発などを行う施設です。コンテンツ制作や半導体設計を行う研究開発機器の開放や研究室の提供などを行います。

- 貸研究室(24室)
- 会議室
- 半導体設計を行う研究開発機器等を設置

D 事業化支援センター

産学連携センター
4号館

大学発ベンチャー等の研究開発や事業化を支援する施設

一般事務系オフィスのほか、機械系と化学系の研究室や、小規模ブース単位で利用できる共同研究室を提供しています。

- 貸研究室(36室)
- 会議室(中・小)
- 共同研究室(10ブース)

E 技術開発交流センター

産学連携センター
5号館

カーエレクトロニクス、ロボット分野等での新たな技術開発を支援する施設

北九州学術研究都市でのこれまでの成果を活用し、カーエレクトロニクス、ロボット分野等での技術開発を支援する施設です。また、学術研究等を目的に学研都市を訪れる方のための宿泊室も備えています。

- 貸研究室(47室) 機械系研究室、化学系研究室、IT系研究室
- 宿泊室(9室) シングル8室、ツイン1室
- 交流室(2室)
- 会議室(中・小)

F 学術情報センター

図書室
情報処理施設

情報を集積・発信するマルチメディアステーション

学術情報の収集提供(図書室)の機能、情報処理教育施設の機能を持つほか、キャンパス内に整備された大容量ネットワークを利用したさまざまな情報通信サービスを提供しています。

貸研究室賃料

- ◎2,000円/㎡・月(共益費別 500円/㎡・月)
- (例:研究室50㎡の場合およそ150万円/年 光熱水費等別)

※FAISは、北九州市から指定管理者としての指定を受け、産学連携施設の効果的・効率的な管理・運営を行っています。

産学連携施設が充実する北九州学術研究都市には、大学だけではなく研究機関および半導体設計関連企業を中心とした研究開発型企業の進出も進んでいます。また、北九州学術研究都市の大学シーズを活用した起業も活発で、学研都市発ベンチャー企業も18社入居しています。

進出研究機関

平成 28 年 7 月 1 日現在

	研究機関等の名称	入居場所	研究内容
1	早稲田大学 情報生産システム研究センター	早稲田大学 情報生産システム 研究センター	自動車エレクトロニクスおよび LSI 分野において国際的水準の高度な研究、人材育成
2	中国上海交通大学 北九州研究室	早稲田大学 情報生産システム 研究センター	ユビキタス情報処理先行技術、産業用ロボット・制御システム、アンビエント SoC 技術等に関する研究
3	中国北京大学 情報科学技術学院 北九州研究室	早稲田大学 情報生産システム 研究センター	超高速人物検索技術およびセキュリティ応用に関する海外共同研究
4	韓国科学技術院 (KAIST) 釜山大学校 北九州研究室	早稲田大学 情報生産システム 研究センター	ロボット産業・エネルギー産業・自動車産業の産業高度化に関する研究開発
5	九州工業大学 先端エコフィッシング 技術研究開発センター	九州工業大学	技術のエコフィッシングを指向した技術の高度化・付加価値化を目指す研究開発および教育
6	北九州市立大学 技術開発センター群	北九州市立大学	北九州学術研究都市における技術開発機能を高め、その成果の事業化を推進することを目的に、今後有望な産業シーズの開発を専ら担う各センターを設置し、市の科学技術振興指針に掲げる「知を基盤としたものづくりの街」と「次世代社会システムの構築」の実現を推進するもの ①バイオマス研究センター ②バイオメディカル材料開発センター ③環境・消防技術開発センター
7	北九州市立大学 環境技術研究所	北九州市立大学	21 世紀の地球社会の変化と地域社会の要請に応え、産業発展や災害対策に寄与するために、環境、エネルギーおよび情報分野等の研究と技術開発を戦略的に進めるもの
8	公益財団法人 福岡県リサイクル総合研究 事業化センター	産学連携センター	資源循環型社会の構築に向けて、産学官民が共同で取り組みながら環境・リサイクル技術と社会システムを併せた研究
9	福岡大学 産学官連携センター 北九州産学連携推進室	産学連携センター	環境産業に関する企業のニーズ、自治体の政策およびシーズをマッチングさせ、産学官連携による環境産業振興を展開
10	一般社団法人 HIBD 研究所	産学連携センター	再生可能資源、炭酸ガスを原料とする液体燃料製造の研究開発
11	現代美術センター CCA 北九州事業所	情報技術 高度化センター	マルチメディアコンテンツの創造に向けた情報通信による表現技術の研究・開発、大学と連携した人材育成
12	九州工業大学 イノベーション推進機構 産学連携・URA 領域 若松分室	技術開発交流 センター	電界共振型生体センシングおよびセンシングデータ解析システムの開発
13	一般財団法人 ファジィシステム研究所	技術開発交流 センター	ファジィ理論を応用した情報処理システムに関する試験研究
14	伊国フィレンツェ大学 国際プラントニューロ バイオロジー研究所 北九州研究室	技術開発交流 センター	新規高輝度 LED 利用による省エネルギー・超高集約型植物栽培システムの開発
15	九州工業大学 次世代パワーエレクトロニクス 研究センター	事業化支援 センター	省エネルギーの推進、電力の高度利用技術、自然エネルギーの活用等、低炭素社会の実現に貢献するパワー半導体を中心とした次世代パワーエレクトロニクス技術の研究
16	北九州市環境エレクトロニクス 研究所	事業化支援 センター	次世代パワー半導体の設計、信頼性研究、電源の小型化等の研究および大学、企業等との共同研究・人材育成
17	その他 1 機関	事業化支援 センター	国立大学法人九州工業大学、北九州市との環境エレクトロニクス研究の連携・協力に関する覚書に基づく研究

進出企業

平成 28 年 7 月 1 日現在

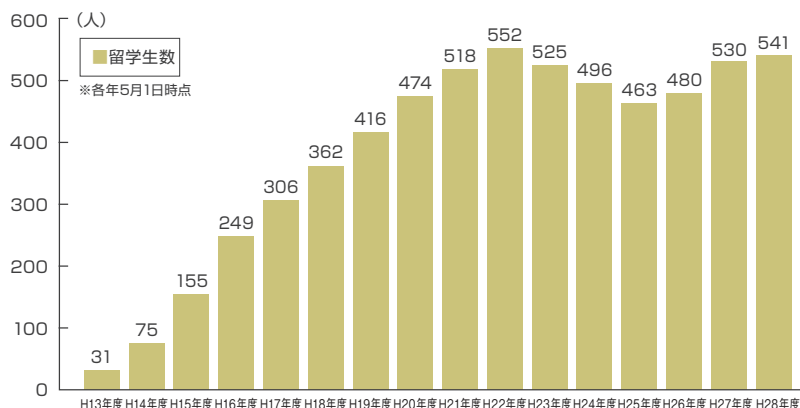
	入居場所	企業名	事業内容
1	産学連携センター	(株)インフォグラム	システム開発、パソコン教育サービス、インターネットサービスおよび前各号に付関連する一切の業務
2		石田特許事務所	特許、および実用新案・意匠・商標登録の出願手続の代理、特許出願等に関するコンサルティング
3		● (株)ヒューマンリソース・デベロップメント	ハイパワー LED を有する高出力投光機および高性能ヒートスプレッダーの研究開発、事業化や人材育成等に関するコンサルティング
4		● (株)ラストディアス	LED 照明灯の研究・開発
5		KOA (株)	電子部品、センサ素子、センサモジュールに関する情報収集、情報交換ならびに産学共同開発
6		プラントメイク RISE (株)	焼却炉設備におけるコーティング剤開発、3D スキャナーによる構造計算ソフトの開発
7	共同研究開発センター	(株)セキュリティ情報研究所	システム開発、システム保守 (24 時間 365 日)
8		(有) K2R	触媒反応を利用したラジカル種含有の水の生成装置の研究開発
9	情報技術高度化センター	ディー・クルー・テクノロジーズ(株)	アナログ回路設計、ファームウェア開発、システム開発
10		(株) Windy	病院、薬局で使用するソフト開発、自動車工場での作業分析ソフトの開発
11		三島光産(株)	薬剤自動除分配機および調剤薬局関連機器の開発、製造
12	事業化支援センター	● (株)ジオクラスター	都市計画・環境に関するコンサルタント、環境製品の開発販売
13		● (有) ビー	画像処理システムおよびソフトウェアの研究開発
14		● 実研開発(有)	臨床工学教育機材、光伝送生体信号測定装置の開発・販売
15		● (株)ブラテック	Web システム開発、アカデミックソリューション事業
16		● (株)ミックステクノロジー	Actvila (アクトビラ) 対応ブラウザ、BML 対応ブラウザ開発販売
17		● RoboPlus ひびきの(株)	メカトロニクス設計・製造および販売、コンサルタント業
18		(有) OHG 研究所	臨床検査および臨床検査技術の研究開発、生体試料分析
再掲		(有) K2R	触媒反応を利用したラジカル種含有の水の生成装置の研究開発
19		博通テクノロジー(株)	無線センサネットワークによる照明節電制御システムの開発
20		ひびきの会計事務所	山口公認会計士・税理士事務所 (公認会計士業務)
21		● (株) STEQ	LED 高放熱、低コスト実装技術の開発と事業化
22		● 日本プライスマネジメント (株)	化学物質のリスク管理ツール開発
23		(有) Seed	医療機関内の物流管理システムの開発
24		(株) AK システム	半導体製造装置製作技術等の新産業分野への応用研究開発
25		カルソニックカンセイ(株)	北九州市 (環境エレクトロニクス研究所) との共同研究
26		(株) ITS	半導体集積回路等電子部品の研究開発
27		環境エネルギー(株)	廃プラ油化 (HiCOP)、廃食油・油脂含有物質のバイオ燃料化 (HiBD) の共同研究および切粉乾燥装置研究開発
28		● (株) Key Word Lab	教育支援システム開発、Web システム開発
29		● ベセル(株)	バイオテクノロジーおよびバイオメディカル用バイオマテリアルの開発および販売
30		菱電商事(株)	全波長領域の光 LED 要素技術開発
31	技術開発交流センター	● Artix, inc	フィンテックや人工知能に関する研究開発、コンピューターソフトウェアの研究開発
32		● (株)石炭灰総合研究所	改質フライアッシュコンクリートの製造システムに関する研究開発
33		(株)シキノハイテック	半導体設備の設計 / 製作 / 調整、LSI 回路設計 / レイアウト等
34		吉川工業(株)	RF-ID に関する研究開発事業
35		(株)C & G システムズ	金型設計・加工用 CAD/CAM ソフトウェア開発
36		(株)パートナー	自動車産業向け MBD/CAD/CAE 開発および人材育成
37		シャボン玉石けん(株)	無添加の化粧石けん、家庭用洗剤、消火剤などの製造販売
38		● イーアイエス(株)	LED 照明灯の研究・開発
39		(株)トリコ	電気部品の開発・修理
40		中国吉隆グループ在日本事務所	環境分野、製造分野における技術移転、技術協力、研究等
41		● (株)環境フォトニクス	植物育成用 LED 光源等の研究・開発・販売
42		● (株) FILTOM	プラセンタエキス (豚胎盤液) を使った化粧品の開発・製造・販売
43		(株)パラマ・テック	一過性意識喪失発作の原因診断を可能とする心電図・血圧同時連続長時間記録計の研究開発
44		アイシン精機(株)	画像認識・空間認識、車両制御等の要素技術開発
45		(株)アドバンテスト	産学連携による ULV 等の自動運転システムのための新計測技術の研究
46		日清紡ホールディングス(株)	自動車の先進運転支援システム (ADAS) におけるセンサーおよびこれらのフュージョンに関する研究開発
47		● ひびきの電子(株)	電界共振型生体センシングおよびセンシングデータ解析システムの開発

※●印は学研ベンチャー企業 (18 社)

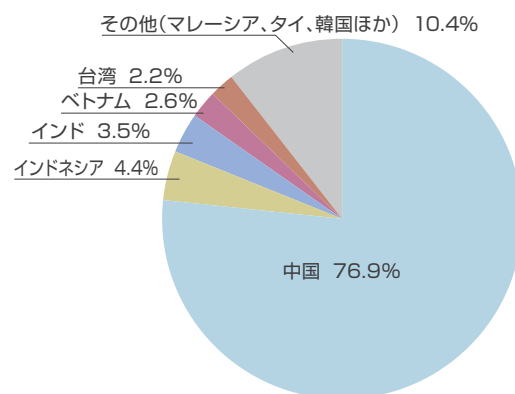
アジアの学術研究拠点の形成

北九州学術研究都市の留学生

【留学生数の推移】



【出身国内訳(25か国)】



留学生の支援と優秀なグローバル人材の育成

FAIS留学生就職支援プログラム事業の運営

北九州学術研究都市内の3大学(北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学)の修士留学生を対象に、日本企業への就職を支援する「FAIS留学生就職支援プログラム」事業を実施しました。

受講生	19名(北九州市立大学2名、九州工業大学2名、早稲田大学15名)
プログラム	・就活支援講座(就活セミナー、模擬面接セミナー、就活カウンセリング、身だしなみ・マナー講座等)
	・ビジネス日本語講座
	・日本ビジネス講座(講義は北九州市立大学ビジネススクール・市内企業の講師に依頼)



模擬面接セミナー

語学教育センターの運営

留学生や北九州学術研究都市に立地する企業・研究機関の職員を対象に、日本語の講座を開講する語学教育センターを運営しました。

●日本語クラス／習得レベルにあわせた初級からビジネス日本語までの8クラス

●平成27年度受講者／日本語293名



日本語講座

留学生交流事業への助成

学研都市の留学生と地域住民との交流事業などを支援するため、NPO法人等が運営する事業に対して助成を行いました。

留学生への宿舍の提供・奨学金の給付

総戸数200戸の留学生宿舍を提供するとともに、北九州学術研究都市の大学院に在籍する留学生を対象に、「北九州学術研究都市奨学金」(1人年間60万円)を給付しました。

●平成27年度給付人数枠／20人

冠奨学金の給付

高度人材として活躍が期待される留学生と地域企業とのネットワーク構築支援目的として創設された冠奨学金制度に、株式会社戸畑ターレット工作所・日本プライスマネジメント株式会社の2企業からの寄付金(総額132万円)をいただき奨学金を給付しました。

●平成27年度給付人数枠／3人



冠奨学金

留学生同窓会の開催

北九州学術研究都市の留学生(卒業生、在校生)と支援関係者等の親睦と連携を図るため、「第3回北九州学術研究都市留学生同窓会」を開催しました。

日 程	平成27年11月21日(土)
会 場	北九州学術研究都市 会議場イベントホール
参加者数	参加者総数150名(卒業生16名、在校生98名、その他36名)



海外との交流促進

各大学における海外大学との交流協定(平成28年5月現在)

【北九州市立大学国際環境工学部(24機関)】

トルコ:エーゲ大学、ベトナム:ハノイ建設大学、イタリア:フィレンツェ大学、中国:遼寧工業大学、モンゴル:モンゴル科学技術大学 他19機関

【九州工業大学大学院生命体工学研究科(25機関)】

マレーシア:プトラ大学、フランス:ボルドー工科大学 ENSEIRB-MATMECA大学院、中国:大連理工大学 他22機関

【早稲田大学大学院情報生産システム研究科(43機関)】

中国:北京大学、台湾:国立台湾大学、韓国:延世大学校、タイ:タマサート大学、フィリピン:アテネオ・デ・マニラ大学 他38機関

海外の研究機関等との交流協定

FAISは、台湾のサイエンスパークや中国の清華大学、上海交通大学および北京大学、イタリアのフィレンツェ大学、韓国の韓国科学技術院(KAIST)・釜山大学校と交流協定を締結しています。交流協定を締結した大学や研究機関と北九州学術研究都市内大学との共同研究に対して助成等を行うほか、シンポジウム、セミナーを開催しています。

●平成16年／台湾 新竹サイエンスパーク、南部サイエンスパークとの交流協定締結

●平成18年／中国 清華大学との交流協定締結

●平成19年／中国 上海交通大学との交流協定締結

●平成21年／台湾 中部サイエンスパークとの交流協定締結

●平成23年／中国 北京大学との交流協定締結

●平成24年／伊国 フィレンツェ大学との交流に関する覚書締結

●平成27年／韓国 韓国科学技術院(KAIST)、釜山大学校との交流協定締結

海外連携プロジェクトへの助成

北九州学術研究都市に進出した海外の大学(中国:上海交通大学、韓国:韓国科学技術院(KAIST)・釜山大学校)と共同研究を行う学研都市内の大学に助成を行うとともに、進出した海外大学(伊国・フィレンツェ大学国際プラントニューロバイオロジー研究所北九州研究室)に対し、拠点の設置・維持にかかる経費の一部を助成しました。

●平成27年度実績／共同研究開発助成2件(助成総額1,200万円)、研究拠点助成1件(助成総額約120万円)

地域交流・広報活動・施設の市民開放

地域交流イベントの開催

第13回 北九州学術研究都市ひびきの祭

地元自治会など地域の方々との協同による「ひびきの祭」を開催し、多くの方へ科学やものづくりへの興味を喚起する場を提供しました。

日程／平成27年11月 8日(日)

会場／北九州学術研究都市

内容／お天気の不思議!?「おもしろ実験サイエンスショー」

ふしぎな楽器テルミンmini演奏会

生きもの型ロボットデモンストレーション&操作体験

石川教授の“水の変身”サイエンスコーナー

発電カーレース

ひびきの秋祭り2015 など

来場者数／約7,500人



北九州学術研究都市サイエンスカフェ

研究者が市民の輪に入って科学の話題を提供、参加者がともに考えながら、科学技術に対する理解と関心を高めることを目的に開催しました。

平成27年 8月19日(水)／テーマ『ポーセラーツってなに!? ～絵付けでマイ食器～』

講師：北九州市立大学 国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科

エネルギー循環化学科 吉塚 和治 教授

会場：北九州イノベーションギャラリー(八幡東区)

11月 8日(日)／テーマ『見えない光を見てみよう!聞こえない音を聞いてみよう!』

講師：早稲田大学大学院 情報生産システム研究科 立野 繁之 准教授

会場：北九州学術研究都市 産学連携センター(若松区)



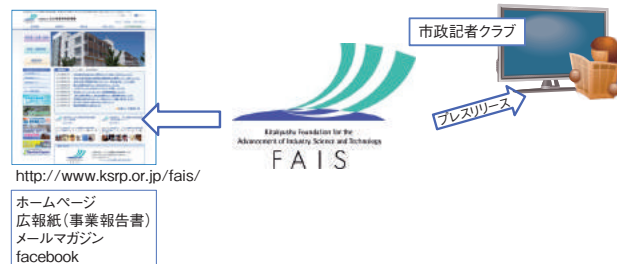
広報活動

積極的な情報発信

北九州学術研究都市の取り組みや成果を、さまざまな機会や手法を活用して、国内外への情報発信を行っています。

平成27年度報道件数／179件

(内訳：テレビ・ラジオ等36件、雑誌15件、新聞128件)



展示会への出展

下記の展示会をはじめ、12件の展示会にブースを出展し、北九州学術研究都市の研究成果等を発信しました。

2015国際ロボット展

会 期／平成27年12月2日(水)～5日(土) 総来場者数／121,422人

出展内容／北九州市内企業が開発したロボット(万能ハンドなど3機種)やパネルの展示、北九州ロボットフォーラムやFAIS産業用ロボット導入支援センターの紹介、など

工業系全国紙記事掲載

工業系全国紙の紙面において、福岡県内で産学連携を推進する3つの公益財団法人の代表による座談会「九州から世界へ 福岡発の先端技術」を開催し、福岡発の科学技術や産業連携、人材育成など各種施策を全国に発信しました。

英語版ホームページの開設

これまでの日本語版ホームページに加え、新たに英語版のホームページを開設し、情報発信力の強化を図りました。



国内外研究者等の受け入れ

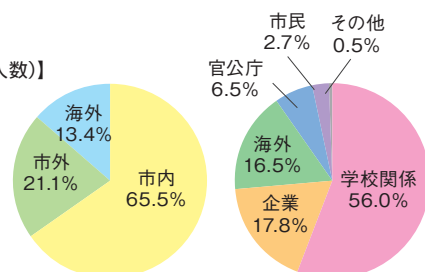
北九州学術研究都市に来訪した多数の国内外研究者等に対し、学術研究都市の設立目的や個別施設の概要、産学連携活動の取り組みや成果等を紹介しています。

平成27年度視察者数／1,498人

*海外／200人(33カ国・地域)

*国内／1,298人

【視察者内訳(人数)】



市民も利用できる共同利用施設の運営

学術情報施設

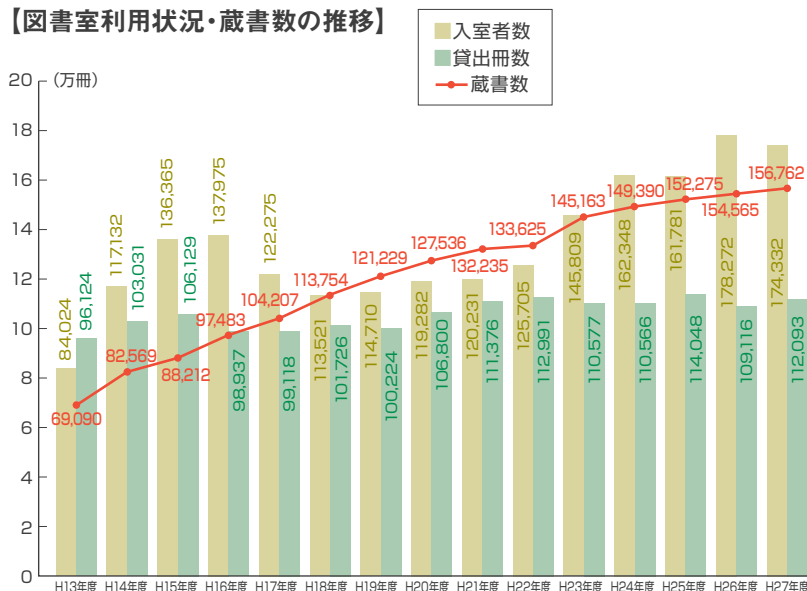
市立図書館とオンラインで結ばれ、他の市立図書館と同様に利用できる一般図書室と、北九州学術研究都市に進出している大学の専門図書を集中配架する専門図書室を運営しています。

また、パソコンを配備した講義室や、遠隔地とリアルタイムでテレビ会議ができる遠隔講義室等を備えています。



学術情報センター

【図書室利用状況・蔵書数の推移】



コンベンション・体育施設

会議場／大型映像装置や同時通訳設備を備えた460席の会議場で、講演会やセミナー、学会や国際会議等が開催可能です。懇親会や展示会等に活用できるホールを併設しています。

会議室／数人から200人規模まで、ニーズに応じた様々な形態の会議や研修、地域活動等に利用できます。

体育施設／大学の授業やサークル活動の時間以外は、一般の方も利用可能で、地域クラブや有志サークル等の活動に広く利用されています。



会議場(外観)



会議場(メインホール)



会議場(イベントホール)



会議室



研修室



体育館



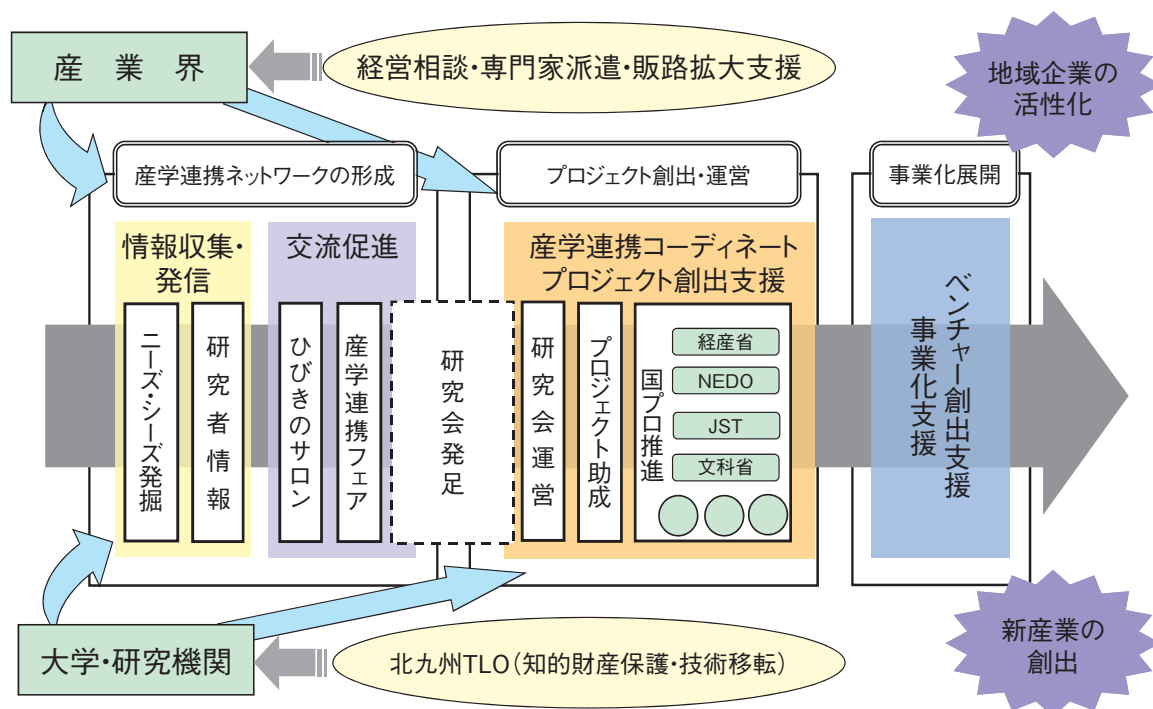
運動場



テニスコート

産学連携の推進

産学連携の取り組み(全体フロー)



情報収集・発信、産学交流の促進

産学連携関連情報の収集・発信

研究者情報の発信

北九州学術研究都市に在籍する研究者のシーズ(提供可能な技術や知識)の調査を行い、産学連携推進のために広く情報を発信しています。

- 『研究者情報データベース』をFAISのホームページ上に構築
- 『北九州学術研究都市の研究者情報』冊子の作成

毎年、市内外の企業等に配布

- 研究者情報冊子 約1,500部
- 研究者情報冊子ダイジェスト版 約3,500部



研究者情報データベース

<http://fais.ksrp.or.jp/05kenkyusha/srch.asp>

産学連携センターNEWS

産学連携センターNEWSを電子メールで配信しています。セミナーの情報や、産学交流サロン(ひびきのサロン)、産学連携フェアに関するトピックス等を随時掲載しています。

- 配信先 約7,700件
- 配信件数(累計) 632通配信



研究者情報冊子

常設の産学交流の場

産学交流サロン(ひびきのサロン)の開催

北九州学術研究都市から新たな産学連携の動きが次々と生まれてくることを目指し、産学官から複数の研究者等が特定の技術テーマについて自由に意見を交換する交流の場「産学交流サロン」を開催しています。平成14年度のスタートから平成27年度までに145回開催し、のべ14,228人の方が参加しています。

【平成27年度実績】

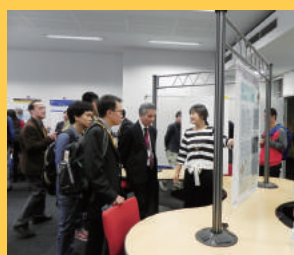
日 時	テーマ	講 師	参加人数
第137回 5/21	公益社団法人日本工学アカデミー九州支部講演会 資源開発に関する国際活動と工学の役割	北九州市立大学 九州工業大学 住友金属鉱山(株) 吉塚 和治 氏 白井 義人 氏 佐藤 涼一 氏	81
第138回 8/20	九州工業大学技術交流会「三木会」合同企画	九州工業大学 アイシン精機(株) 北九州市 大屋 勝敬 氏 小吹 信三 氏 柴田 泰平 氏	108
第139回 10/9	産業界で活躍する技術系人材に求められるものとは 第2回カーエレ・カーロボ連携大学院交流会	アイシン精機(株) 九州工業大学 アイシン精機(株) 音川 昌也 氏 森江 隆 氏 日並秀太郎 氏 他	67
第140回 11/16, 17	グローバル情報生産システム研究の最前線！ ～アジアの頭脳が早稲田大学IPSひびきのキャンパスに集う～	早稲田大学 タイ・チュラロンコーン大学 Mr.Manoj Lohatepanont 植田 敏嗣 氏	183
第141回 1/19	ここまで来た！ 新電子計測技術の世界	東京電機大学 アドバンテス九州システムズ 新日本無線(株) 中谷 隆之 氏 彦坂 潤一 氏 梶谷 繁樹 氏	72
第142回 2/5	エレクトロニクス・スマートアプリケーションの世界	TOTO(株) 東芝情報システム(株) 佐藤 芳郎 氏 村林 雅則 氏	100
第143回 2/19	災害に対する社会の強みと弱みを測る	北九州市立大学 デ・ラ・サール大学 北九州市立大学 奥山 恭英 氏 クリスタ・ダニエル・ユー 氏 加藤 尊秋 氏	42
第144回 3/17	ロボット技術の政策およびビジョン活用事例の紹介	九州経済産業局 福岡県 北九州市 (株)三次元メディア 生島 敬二 氏 小野 幸徳 氏 柴田 泰平 氏 坂下 国寿 氏	89
第145回 3/24	ナレッジサービス活用による業務革新セミナー	パナソニックエコソリューションズ創建(株) 松井 正義 氏 箕浦 秀樹 氏	26



第137回サロン



第139回サロン



第140回サロン



第142回サロン

産と学との出会い創出

第15回 産学連携フェアの開催

地域の大学・企業等の研究成果・活動内容を広く紹介し、産と学との交流の場を提供するため、産学連携フェアを開催しています。

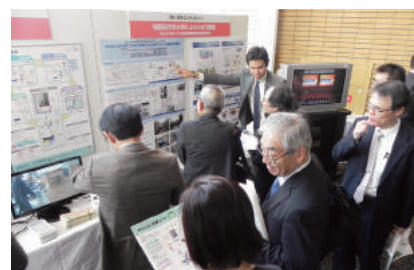
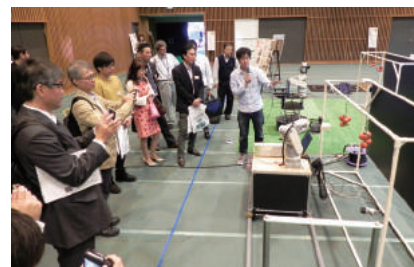
【開催概要】

- 日程／平成27年10月22日(木)・23日(金)
- 会場／北九州学術研究都市
- テーマ／『知と技術の融合』
- 来場者数／6,751人(2日間のべ来場者数)
- 【来場者数内訳】

基調講演	510
セミナー	1,391
展示会	3,862
見学ツアー	226
交流パーティー／ 交流ルーム	528
同時開催	234



第15回産学連携フェアポスター



●基調講演／

『ものづくり100年の軌跡～そしてその先へ～』

講師 喜多村 円 氏(TOTO(株) 代表取締役社長 執行役員)

●セミナー・シンポジウム／

大学、研究機関、企業による、研究成果や新産業創出に関する発表など
30のセミナー・シンポジウムを開催

●展示会／

次世代自動車やロボット、環境、半導体・情報アプリケーション、医療・福祉分野等の研究成果や新製品を紹介。

36機関・団体が出展

産学共同による研究会の企画運営

平成27年度研究会活動

先端的で波及効果が高いと予想される技術分野に関するテーマや事業化の可能性の高いテーマについて、産学共同による研究会を企画・運営し、研究開発につなげる活動を進めました。

◎平成27年度研究会活動

北九州学術研究都市が開設された平成13年度から、様々な研究会を立ち上げてきました。研究会の取り組みは、国等プロジェクトの採択につながっています。

平成27年度は、「3Dものづくり技術研究会」や「作業動作アシストツール職場導入支援研究会」など18研究会を運営しました。



作業動作アシストツール職場導入支援研究会

研究成果の特許化と技術移転《北九州TLOの運営》

FAISは「北九州TLO (Technology Licensing Organization)」を運営し、地域の大学等の研究者が生み出した研究成果(発明)を特許化し、それらを民間企業へライセンス契約等によって技術移転しています。この技術移転により企業から得られたライセンス収入等の大半を研究者や大学に還元し、新たな研究開発につなげています。北九州TLOの保有技術シーズは、ホームページでも紹介しています。<http://www.ksrp.or.jp/faiss/iac/project/tlo.html>

北九州TLOの仕組み・特許出願等



研究成果提供大学等

九州工業大学、産業医科大学、北九州市立大学、九州歯科大学、西日本工業大学、九州共立大学、中村学園大学、北九州工業高等専門学校

これまでの特許出願件数およびライセンス契約件数(累計)

	H12～H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
特許出願件数	202	229	248	271	293	306	321	331	332	335	335
ライセンス契約件数	91	106	122	131	143	167	180	194	200	211	214

これまでに事業化・製品化された事例(一部掲載)

名称	発明者・研究代表者
水添加型の界面活性剤系組成物(環境に優しい泡消火剤)	北九州市立大学 上江洲 一也 教授
新バイオディーゼル燃料(HiBD)の製造方法及び装置とそれに用いる触媒	北九州市立大学 藤元 薫 特任教授
医学実習用解剖台(ホルムアルデヒドの直接曝露防止)	産業医科大学 大和 浩 教授、菊田 彰夫 教授 他
マイクロ波を用いた減圧乾燥方法及びその装置	九州工業大学 鶴田 隆治 教授 他

新バイオディーゼル燃料(HiBD)の製造方法及び装置とそれに用いる触媒



タイ(チュラロンコン大学)に設置したHiBDパイロットプラント(10ℓ/h)



パイロットプラントで製造したHiBD

マイクロ波を用いた減圧乾燥方法及びその装置



◁減圧乾燥装置(マイクロ波)▷



▷フルーラ&ベジタブルフルーラ◁

研究開発支援

平成28年4月現在

企業・大学等が実施する研究開発に対する支援

大学等の研究機関、市内企業が実施する研究開発のために助成金を交付し、新技術・新製品の開発を支援しています。

FAISの研究開発に対する支援制度

◎新成長戦略推進研究開発事業

名 称	概 要	対象者	助成額（助成率）	助成期間
シーズ創出・実用性 検証事業	北九州市新成長戦略に定める成長分野に関し、実用化を目指すシーズを見出し、その可能性を検証するための調査・研究に対して補助金を交付	市内大学等	100万円（1/1）	1年以内
実用化研究開発 事業	北九州市新成長戦略に定める成長分野において、実用化が見込まれる新技術・新製品の研究開発に対して補助金を交付	市内企業または市内で 研究開発を行う企業	中小企業 500万円(2/3) その他 500万円（1/2）	2年以内

平成27年度採択実績

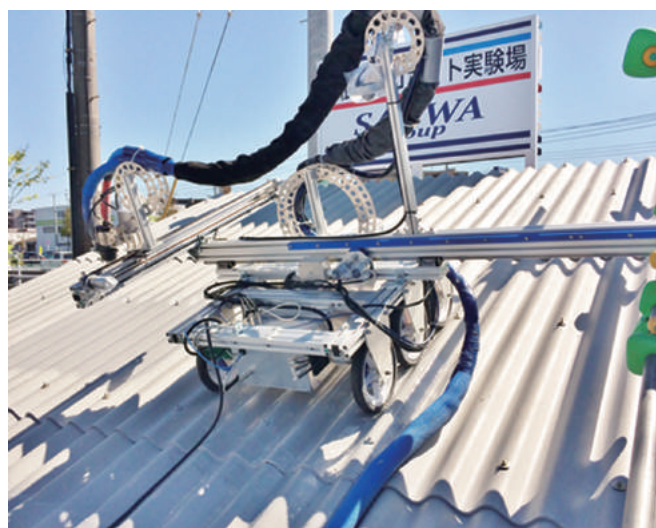
【シーズ創出・実用性検証事業】15件

形状記憶合金メッシュによるシート状アクチュエータ素材の開発	北九州市立大学
極性有機溶媒に適用可能な無機分離膜を用いたナノろ過システムの開発	北九州市立大学
バイオエタノールを原料とした化学品製造のための複合機能触媒の開発	北九州市立大学
完全自動運転の実現に向けた全天候性環境認識システムのためのセンサーフュージョン技術の創出	北九州市立大学
液相スラリー法による炭化水素系バイオ燃料（HiBD）製造技術の開発	北九州市立大学
高演色・高出力LED照明の実現に向けたLED光源と放熱構造の最適化検討	北九州市立大学
複数の小型無人飛行ロボットによる3次元測量実現の可能性調査	北九州工業高等専門学校
生活習慣病予防を目的とした簡易血液粘度測定法の開発	産業医科大学
無線ネットワークを利用したレスキュー活動支援システムの開発	早稲田大学
重機安全監視カメラセンサシステムの開発	早稲田大学
指骨CR画像のコンピュータ画像診断支援法の開発	九州工業大学
ICTによるリアルタイム人流計測の技術開発とまちづくり事業への実装化	九州工業大学
ワイドバンドギャップスイッチング素子を用いた MHzスイッチング絶縁型コンバータの高電力密度化（20-25W/cm ³ ）に関する実証研究	九州工業大学
実用的なブレインマシンインターフェース脳波計システムの開発	九州工業大学
微小孔アレイを有する窒化シリコン製培養膜を用いた細胞共培養デバイスの開発	九州工業大学

【実用化研究開発事業】13件

鉄道車両業界向け車両洗浄ロボットの開発	八祥産業(株)
感染症の防止を目的としたエコな高殺菌・高消臭光触媒製品の開発と実証	(株)フジコー
スレート屋根補修の機械化	(株)三和綜合土木
Free Wi-Fi を核とした独自の多言語動画番組制作プラットフォームとビッグデータ & オープンデータエコシステムとの連携	(有) BOND
患者にやさしい連続血圧計の開発～高血圧や一過性意識消失の診断・治療への応用～	(株)パラマ・テック
徘徊認知症高齢者の保護者連絡ソフトウェアの開発	(株)ヴィンテージ
運動競技場用ライン引きロボットの開発	(株)アダチスポーツ
3Dプリンタを用いた革新的砂型造型工程による難燃性マグネシウム合金砂型鑄造製品の開発	(株)戸畑製作所
歯周病炎症性メディエータ検出イムノクロマトの開発および歯周病総合診断法の検討	(株)ジーンネット
情報提供サービス充実の為に携帯写真で簡単便利な魚種検索機能の開発	(株)ケイエス企画
顧客サービスに着目した電力・熱・業務プロセスの最適化に関する実証	環境テクノス(株)
尿中トロンビン活性測定による急速進行性糸球体腎炎の診断装置の開発	九州ワダチ(株)
万能ロボットハンドを用いるマニピュレータシステムの開発	前田機工(株)

FAIS助成制度の主な成果事例(平成27年度採択テーマより)



【研究テーマ】スレート屋根補修の機械化

【申請企業】(株)三和綜合土木

工場や倉庫などの老朽化したスレート屋根に自動で特殊樹脂を塗布するロボットを開発しました。スレートに含まれるアスベストの飛散を防止するとともに、樹脂の特性により屋根そのものを長寿命化させます。高所での危険な作業を人に代わって行うため、落下等の災害が無くなり、さらに出来形の安定と施工期間の短縮にも効果を上げました。



【研究テーマ】情報提供サービス充実の為に携帯写真で簡単便利な魚種検索機能の開発

【申請企業】(株)ケイエス企画(共同研究機関:九州工業大学)

釣った魚をスマートフォンで撮影し、口や背びれ、尾びれなどの特徴点を複数入力することで魚種名を簡単に検索できるアプリケーションを開発しました。釣り初心者が知らずに毒魚を触ってしまう事故の減少が期待できます。現在、魚検索アプリのデータテスト版を運用しながら認識精度の向上に努めており、同定率を高めたところで本格稼働を目指します。

国等の資金を活用した研究開発プロジェクトの推進

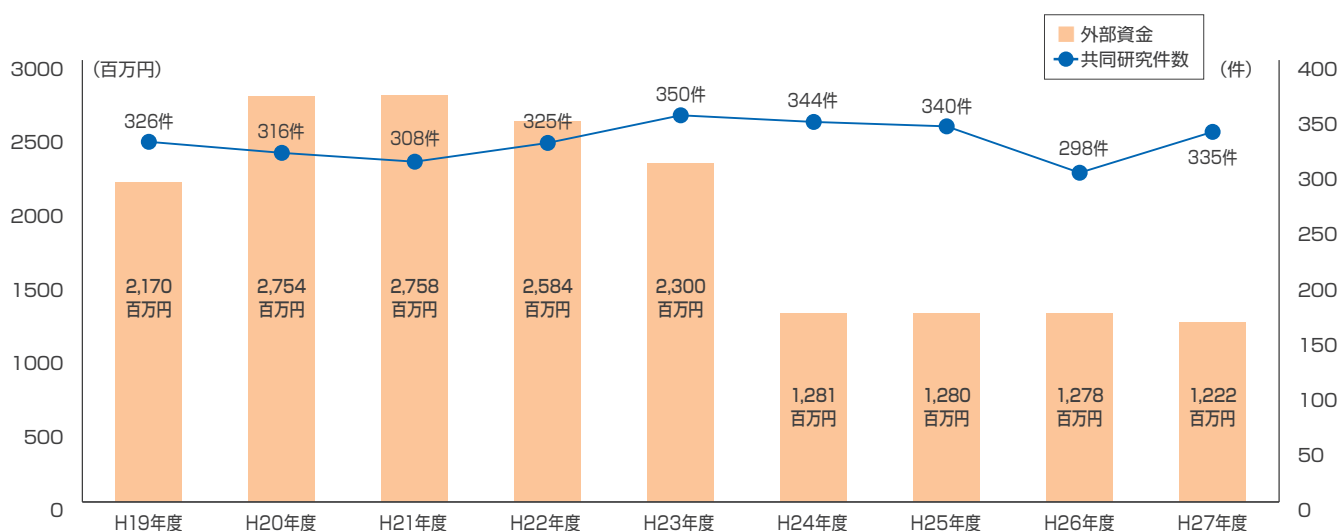
「戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省）」や「地域イノベーション戦略支援プログラム（文部科学省）」等、国等の資金を活用した産学連携の研究開発プロジェクトを積極的に実施しています。

平成27年度は、各大学における受託研究等と合わせて335件のプロジェクトに取り組みました。

中でも、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が進める「世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチコンプレックス）推進プログラム」では、当財団が中核機関となった提案がFS（フィージビリティ・スタディ）拠点として採択されました。（全国で3ヵ所）

外部資金の積極的な獲得

北九州学術研究都市における外部資金の受入状況の推移（大学およびFAISの合計）



これまでに実施した主な研究開発プロジェクト

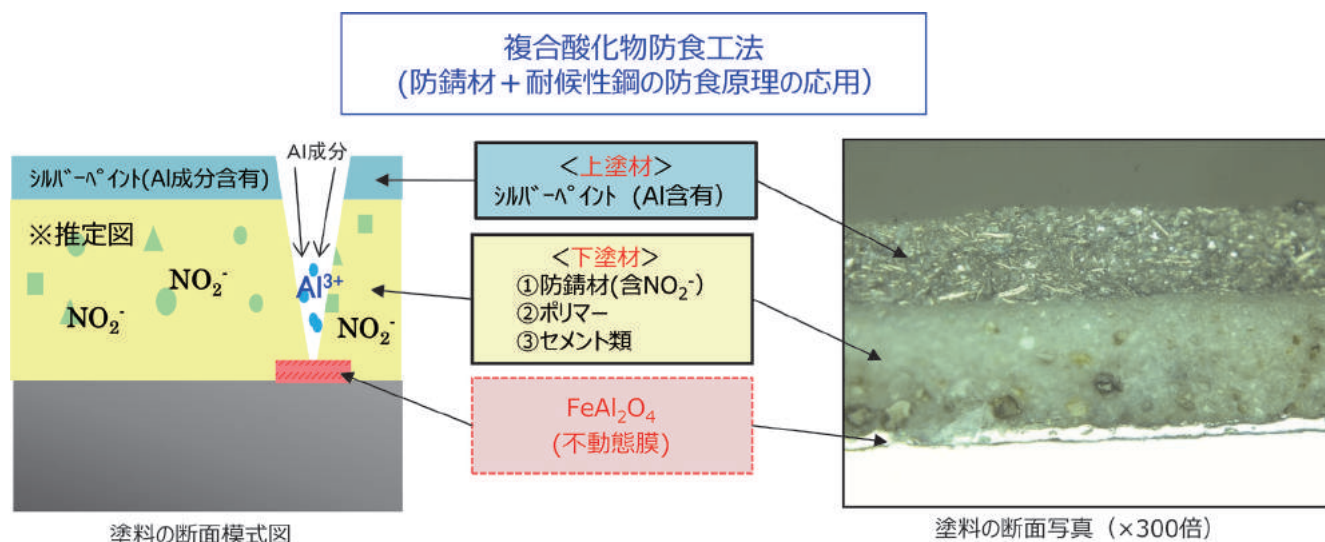
◎主なプロジェクト

経済産業省		
非常用電源としてのマグネシウム空気電池を実現する難燃性マグネシウム合金鋳造薄板による革新的電極素材の開発		25年度～27年度
【戦略的基盤技術高度化支援事業】		9,200万円
溶融亜鉛めっきの代替が可能な複合酸化物を活用した高強度防錆塗料と工法の開発		25年度～27年度
【戦略的基盤技術高度化支援事業】		4,700万円
SiCセラミックス大幅適用拡大の為に新規2段反応焼結法（接合・精密加工技術）の開発		26年度～28年度
【戦略的基盤技術高度化支援事業】		9,800万円
内閣府		
ハイブリッド自動車向けSiC耐熱モジュール実装技術の研究開発		26年度～30年度
【戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）】		8億4,000万円
JICA		
インドネシア・バリクパパン市における泥炭・森林火災の消火技術普及モデル事業		25年度～27年度
【草の根技術協力事業地域経済活性化特別枠】		6,000万円
全国中小企業団体中央会		
竹ープラスチックコンポジット材を活用した事業の推進		26年度～28年度
【ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業】		2,400万円
JST		
スマート社会創造に向けたソーシャルイノベーション研究開発・実証拠点		27年度～28年度
【世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチコンプレックス）推進プログラム】		3億3,500万円

FAISが支援した研究開発プロジェクトの主な事例

◎溶融亜鉛めっきの代替が可能な複合酸化物を活用した高強度防錆塗料と工法の開発

鋼材の汎用防食工法である溶融亜鉛めっきは、①大型処理設備 ②高温処理での熱ひずみの発生 ③亜鉛や空気抜きの手前孔加工 ④化学物質の大量使用 ⑤専門知識が必要 ⑥用途によっては外傷由来の白さびによる製品への悪影響等、多くの課題を抱えています。本事業では、大型設備の必要がなく、吹付け塗装、温和な加熱処理等容易かつ短工程で施工可能な複合酸化物と防錆材の相乗効果の特徴とする低コストの高強度防錆塗料と工法を開発してこれらの課題を解決しました。

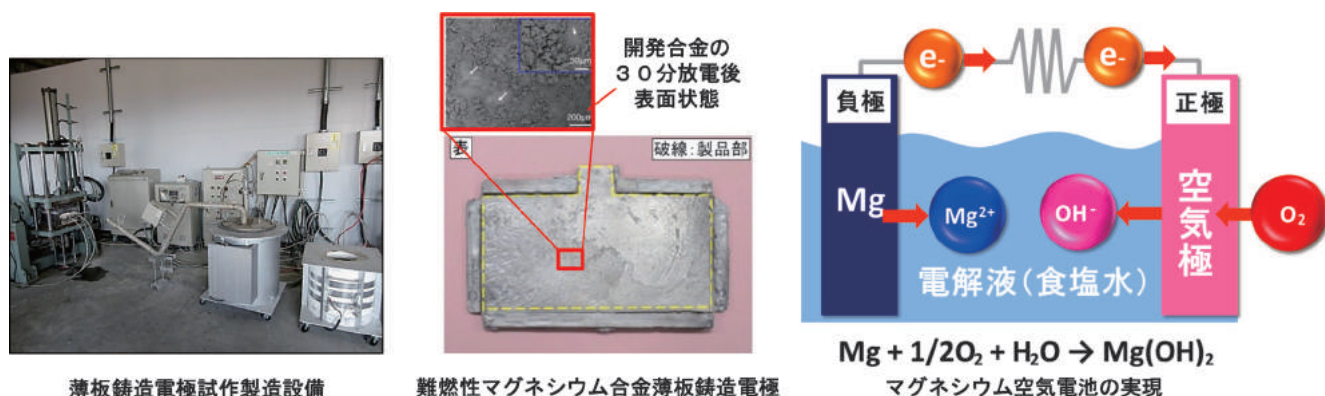


【事業名】 経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業
 【参画機関】 ダイキ工業(株)、エス・エルテック(株)、九州工業大学、九州大学
 【事業期間】 平成25年度～27年度

◎非常用電源としてのマグネシウム空気電池を実現する難燃性マグネシウム合金薄板による革新的電極素材の開発

近年の太陽光発電など再生可能エネルギーの効率良い活用目的の蓄電ニーズの高まりや、多発する震災などに対応可能な長期保存の利く非常用電源としてのマグネシウム空気電池の実用化が期待されています。しかしながら、安価に実用化する為にはマグネシウム電極は短寿命、発火リスク、高材料コスト等の多くの課題を抱えています。

本研究開発では高効率放電特性、発火抑制特性に優れた合金開発を行うとともに、薄板化、低材料コスト化可能な製造技術開発を行い、難燃性マグネシウム合金薄板製造による革新的電極素材を実現することで、マグネシウム空気電池の実用化に大きく貢献することを目的としています。



【事業名】 経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業
 【参画機関】 (株)戸畑製作所、古河電池(株)、不二ライトメタル(株)、産業技術総合研究所
 【事業期間】 平成25年度～27年度

地域イノベーション戦略支援プログラム(平成24年度～28年度)

地域イノベーション戦略支援プログラムとは

地域イノベーション戦略支援プログラムは、地域イノベーション戦略推進地域に選定された地域のうち、文部科学省による支援が地域イノベーション戦略の実現へ大きく貢献すると認められる地域に対して、知的財産の形成や人材育成など、地域の主体的な活動展開に対する支援を行う事業です。

平成23年8月に地域イノベーション戦略推進地域(国際競争力強化地域)の指定を受けた福岡・北九州地域では、福岡県、福岡市、北九州市、地域の大学等研究機関、金融機関、(財)福岡県産業・科学技術振興財団、FAIS等で構成する「福岡イノベーション推進協議会」により、事業プログラムを提案し、平成24年6月に正式採択され事業が開始されました。

FAISは、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団等と連携し、これまで知的クラスター創成事業等で創出した研究成果の事業化に取り組むとともに、「高度情報化社会」「低炭素社会」「健康・長寿社会」等、次世代の社会システムに必要な技術・製品の創出に取り組んでいます。

地域イノベーション戦略支援プログラムの取り組み

第Ⅰ期 平成14年度～18年度 知的クラスター創成事業

第Ⅱ期 平成19年度～23年度 知的クラスター創成事業

平成22年度は「地域イノベーションクラスタープログラム」、

平成23年度からは「地域イノベーション戦略支援プログラム」に名称変更

地域イノベーション戦略支援プログラムの研究テーマ

No.	研究テーマ名	研究代表者
1	有事対応型情報プラットフォームの開発	九州大学 安浦 寛人 理事・副学長
2	複合型社会情報基盤システムの信頼性・安全性保証技術の研究開発	九州大学 福田 晃 教授
3	高性能無線バックホール	九州大学 古川 浩 教授
4	次世代窒化ガリウム(GaN)パワー半導体による革新的ワイヤレス・エネルギー供給技術開発と照明への応用	九州工業大学 大村 一郎 教授
5	MEMSを利用した細胞解析デバイスの開発	九州工業大学 安田 隆 教授
6	超低電力アナログLSIの高信頼設計技術に関する研究	北九州市立大学 中武 繁寿 教授
7	新規高輝度LED利用による省エネルギー・超高集約型植物栽培システムの開発	北九州市立大学 河野 智謙 教授
8	高機能・高信頼性モジュールのための、高付加価値インターポザーに関する研究	福岡大学 友景 肇 教授
9	3次元LSIによる画像処理チップの研究	早稲田大学 木村 晋二 教授
10	次世代画像符号化(HEVC)の低消費電力化の研究	早稲田大学 木村 晋二 教授
11	CPS(Cyber-Physical System)構築に向けたSSSoC(Smart Sensor SoC)利活用技術の開発	(財)九州先端科学技術研究所 村上 和彰 副所長

※ は北九州市内研究者のテーマ

技術拠点化の推進

半導体・エレクトロニクス技術拠点化の推進

半導体・エレクトロニクス関連企業支援

半導体設計ツールやIC・MEMS微細加工装置、評価・解析機器を整備し、半導体・エレクトロニクス関連企業に対して、設計から製造、評価・解析までの一貫した設備環境を提供し、北九州市における半導体産業の振興に努めています。

■半導体設計環境の提供

回路設計、レイアウト設計、シミュレーター、検証等、大手EDAベンダの半導体設計ツールなど、一貫した設計環境を提供し、新たなアプリケーション創出に向けたサポートを実施しています。

(※設計環境の提供は、平成28年3月31日をもって終了しました。)

■IC・MEMS微細加工環境の提供

共同研究開発センターの微細加工設備をベースに、IC・MEMSの微細加工プロセスの提供を行っており、文部科学省所管のナノテクノロジープラットフォームの一員として、「微細加工」分野の学術的な基礎研究から産業界における研究開発まで幅広く、大学、企業、研究機関などを支援しています。

■半導体評価・解析環境の提供

信号発生器や波形分析器等の評価機器、X線透視装置やマイクロスコップ等の解析機器など、充実した評価・解析環境を提供しているほか、ひびきのLEDアプリケーション創出協議会などの研究グループに対し技術サポート等を実施しています。

ひびきのLEDアプリケーション創出協議会の活動

当協議会は、北九州学術研究都市発の新たなアプリケーション創出や地域企業のLEDアプリケーション事業への参入促進などを目指して活動しており、市内中小企業等の研究開発や販路開拓の支援を行っています。

●平成28年4月現在／

会員数 135名、登録研究グループ 約20件



展示会出展支援(ライティングジャパン)



協議会活動の成果品(北九州市トライアル発注認定新商品)

半導体技術者育成講座(ひびきの半導体アカデミー)の開催

半導体技術者育成講座「ひびきの半導体アカデミー」では、半導体・エレクトロニクス関連企業の技術者などを対象として、社会や産業界に貢献するアプリケーションを創出するための知的基盤や技術力・研究開発力の向上等につながるプログラムを提供しています。

当アカデミーは、学研都市開設以来、これまでに累計約5,200名の方に受講いただき、数多くの半導体技術者を輩出しています。

●平成27年度／講座数 8講座、参加者数 367名

講座風景



集積回路設計試作基礎講座



PICマイコン活用基礎講座

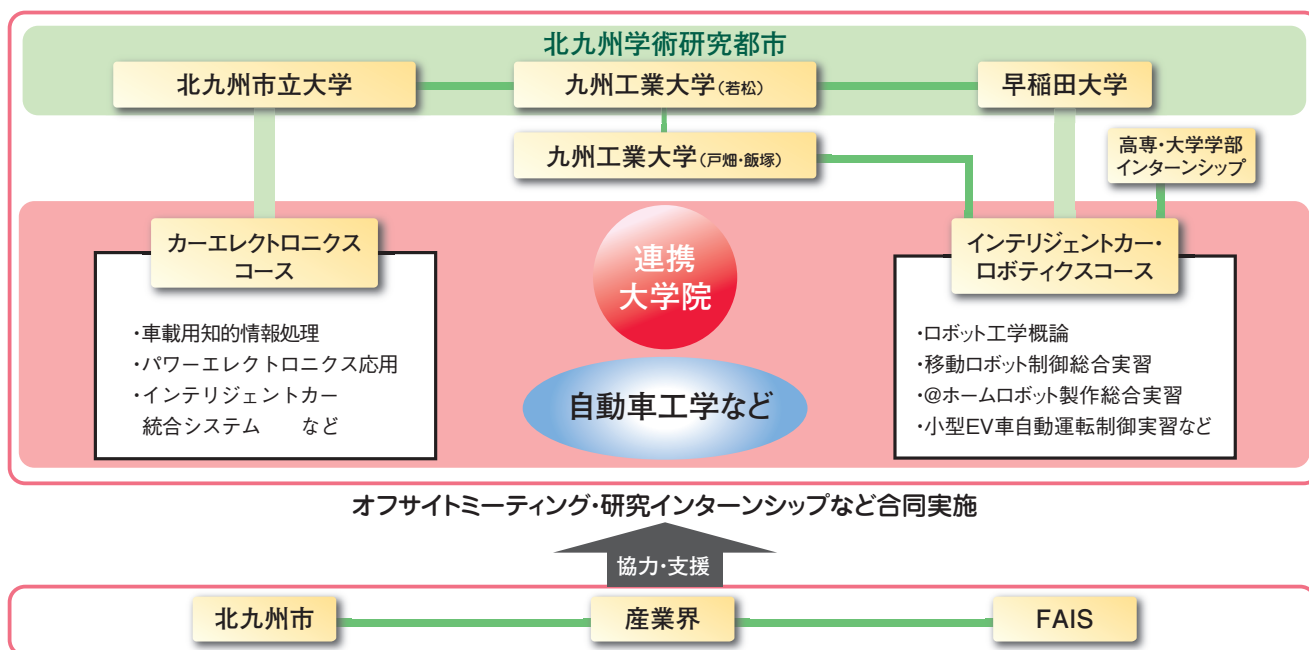
自動車技術拠点化の推進

高度な自動車技術を有する人材の育成と、自動車技術に関する研究開発事業の発掘と支援等を目指して自動車技術センター（旧カー・エレクトロニクスセンター）を開設し、北九州学術研究都市3大学による連携大学院の運営を支援するとともに、学研都市進出大学と自動車関連企業との共同研究開発を促進し、自動車技術の拠点化に向けた取り組みを進めています。

人材育成の推進

北九州学術研究都市に立地する3大学（北九州市立大学・九州工業大学・早稲田大学）が開設した連携大学院「カーエレクトロニクスコース（平成21年4月開設）」と「インテリジェントカー・ロボティクスコース（平成25年4月開設）」の運営支援を行い、次世代を担う実践的な高度人材の育成に取り組んでいます。

また、市新成長戦略の柱の一つである次世代自動車産業拠点の形成に向け、次世代自動車に関する勉強会を開催し、地域企業の自動車産業への参入に向けた機会を提供しております。



（修了生就職先：トヨタ自動車(株)、日産自動車(株)、マツダ(株)、三菱自動車工業(株)、(株)デンソー、アイシン精機(株)、富士通テン(株) 等）

研究開発の支援

自動運転・安全運転支援技術など、北九州学術研究都市の研究シーズを活かした特色ある研究開発の取組みを推進し、これにより次世代自動車技術に関する拠点化を目指します。

【ニーズ・シーズマッチング会】

企業ニーズと大学シーズのすり合わせを行うために、コーディネーターが仲介し、41件のニーズ・シーズマッチング会を実施しています。

【研究会】

●平成27年度事例／「自動車の自律走行」「高温実装・材料技術」などをテーマに2研究会。

【研究開発プロジェクト】

自動車関連企業からのニーズが強く、実効性の高い研究テーマについて、公的資金の獲得などにより、共同研究を実施しています。

●平成27年度事例／ハイブリッド自動車向けSiC耐熱モジュール実装技術の研究開発

理論知識型AIとデータ駆動型AI統合による自動運転用危険予測装置の構築と公道実証



超小型EV自律走行デモの様子
（九州・ひびきの自律走行研究会）

ロボット技術開発拠点化の推進

北九州市のロボット産業振興のため、「市内ロボット関連企業と大学・研究機関との連携促進・技術コーディネート」「ロボット開発プロジェクトの立ち上げと実証・事業化支援」「市内企業への産業用ロボット導入支援」「ロボット技術人材育成」などを行っています。

豊富な実証データと
ノウハウを有する

ロボット 実証拠点

域外や自動車等の
他産業へ技術や
製品を供給する

ロボット 技術拠点

ロボットを用いた
サービス等のビジネス
モデルが生まれる

ロボット 開発拠点

多くの企業や
大学等の集積による

ロボット 人材拠点

【これまでの成果】

鉄道車両洗浄ロボットの開発 (新成長戦略推進研究開発事業)

●八祥産業(株) ●有ICS SAKABE ●九州工業大学 協迫研究室 ●FAIS
鉄道車両側面に均一に洗浄剤を塗布するロボットと、ブラシにより洗浄するロボットといった2種類のロボットから構成されるシステム。

事業化済(平成28年2月)



スレート屋根補修ロボットの開発 (新成長戦略推進研究開発事業)

●(株)三和綜合土木 ●FAIS
スレート屋根の清掃、穴の塞ぎ、樹脂の塗布を行う軽量の3種類のロボットから構成されるシステム。H28年度の事業化を目指す。



回復期リハビリ用バランス訓練ロボットの開発

北九州ロボットフォーラム(市内発ロボット創生事業)

●九州栄養福祉大学 ●西九州大学 ●福岡県工業技術センター ●NPO福祉用具ネット
●アイクオーク(株) ●FAIS

リハビリ中の患者がロボットに座り、座面を“8の字”に傾斜させ、人の重心位置の変化を測定して、バランス訓練・評価を実施する。H28年度は実証実験実施。



研究
開発

産業用ロボット導入支援センター

ロボット導入による市内企業の生産性向上・ものづくり力強化を目的にロボット導入を総合的に支援します。
支援内容

- ロボット導入に関する企業訪問・技術相談
- 人材育成(ロボット技術者およびカイゼン指導者)
- ロボット導入に関する情報発信

H27年度の成果

- ・企業訪問・技術相談 197件 ・ロボット導入支援件数 4件
- ・カイゼン指導者育成事業の国プロ採択
- ・講習会・セミナー実施(合計8回 参加者合計132名)
- ・設備増強(ビジョン付きパラレルリンクロボットシステムの新規導入)



パラレルリンクロボットシステム

研究
開発

ひびきの高度ものづくり実践人材育成事業～ひびきのハイテクチャレンジ～

ものづくりを担う高度人材の発掘・育成！

ひびきのハイテクチャレンジは、将来の創造的・革新的なものづくり技術を持っていく高度人材を発掘、育成するためのプログラムです。大学・大学院等の学生による自由で自主的なアイデア・企画から、技術研究開発までの実践活動の支援をしています。



RoboCup
サッカーロボット



RoboCup
@Home



全方向
移動台車



アルゴリズムデザイン
によるベンチの作成



水中ロボット



学生フォーミュラ

人材
育成

中小企業・ベンチャー企業の総合的支援

中小企業の総合的支援

中小企業の経営支援

◎総合相談・休日創業相談の実施

中小企業診断士等の専門家を窓口配置し、市内中小企業が抱える様々な相談に対応しています。また、平日に来訪が困難な創業予定者には、休日(土・日)相談を実施しています。

●平成27年度実績／総合相談件数487件、休日創業相談2件

直接企業に出向いて様々な相談に応じる巡回専門相談員を配置し、訪問企業に対し支援メニューや支援担当部署等の紹介をしています。

●平成27年度実績／276社

◎専門家の派遣

経営革新等に積極的に取り組もうとする中小企業に対し、専門家(登録200名)を派遣して支援をしています。

●平成27年度実績／38件、154回



中小企業支援センター

チーフマネージャー
辻 つかさ



金融機関出身。
中小企業診断士。
中小企業の資金繰りや融資相談、様々な業種での相談経験を活かし、中小企業の創業から経営革新までの支援を行う。

マネージャー
松本 克彦
まつもと かつひこ



松本技術士事務所代表。
建設設備業出身。技術士(環境部門・総合技術管理)。品質管理、環境技術、生産性向上、業務改善、ものづくり支援を得意とし課題解決に取り組む。

マネージャー
宮川 英之
みやがわ ひでゆき



宮川公認会計士事務所代表。
創業予定者への会社設立や監査業務の経験から経営リスク対応など、中小企業に対する総合的な取り組みの支援を行う。

マッチングコーディネーター
財前 秀生
さいぜん ひでお



県内の中小企業情報や
全国の発注企業、自動車産業などの情報に精通。製造業の受発注のマッチングを担当。

巡回専門相談員
村田 信敏
むらた のぶとし



市内の製造業を対象に訪問し、各種相談に応じる。支援施策や担当部署を紹介。

◎創業支援の実施

開業資金の調達や事業計画の策定など創業に関する相談や創業セミナーを開催することにより、創業希望者に対し開業までの支援を行っています。

●平成27年度実績／創業33件

◎マッチングコーディネートの実施

幅広い人脈を持つマッチングコーディネーターがものづくり企業の取引先や提携先を紹介し、販路開拓を支援します。さらに、地場企業の取引拡大・受注機会増大を目的とした商談会も開催しています。

●平成27年度実績／マッチング件数98件、成約件数11件、商談会開催3回

知的所有権の活用支援

◎知的所有権センターの運営

北九州地域の中小企業の新技術・新製品開発や新たな特許取得等を促進するため、知的財産権に関する相談・指導や特許活用等の支援を行っています。

●平成27年度実績／発明相談83件、 特許活用(成約)1件、 企業相談・指導752件

北九州知的所有権センター

知財トータルサポーター
熊本 洋
くまもと ひろし



電機、窯業メーカー出身。
製品開発において多くの特許出願実績を有し、知財業務に精通。知財基礎力の向上、特許等出願、知財戦略等トータルで支援を行う。

特許流通コーディネーター
安部 順一
あべ じゅんいち



電機メーカー出身。
研究・開発・製品化の各段階を経験。地域企業、大学、経済団体との幅広いネットワークを有し、新技術・新製品開発を行う企業の支援を行う。

ベンチャー企業の創出・育成

ベンチャー企業の成長支援

◎インキュベーションオフィス「北九州テレワークセンター」の運営

小倉駅北口のAIMビルに設置されたインキュベーション施設「北九州テレワークセンター」について、北九州市から指定管理者としての指定を受け(平成25年度～29年度)、情報通信技術を活用して新たなビジネスを展開しようとするベンチャー企業に対してオフィスを提供しています。

●平成27年度／入居企業数22社



北九州テレワークセンター

「インキュベーション」とは

「ビジネスインキュベーション」の略語で、一般的には「企業ふ化」などと訳されています。当財団では、「新事業創出のための支援」と定義しています。つまり、「ふ化器」にあたるインキュベーション施設で、起業家の皆様をサポートするシステムのことです。

◎市内のインキュベーション施設

「北九州テレワークセンター」(IT系ベンチャー企業向け)

「九州ヒューマンメディア創造センター エムサイト AIM」(コンテンツ系ベンチャー企業向け)

「北九州テクノセンター」(サービス系ベンチャー企業向け)

「北九州市立起業家支援工場」(ものづくり系ベンチャー企業向け)

「北九州学術研究都市 産学連携施設」(大学発ベンチャー企業向け)



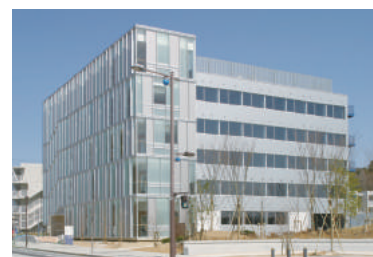
九州ヒューマンメディア創造センター エムサイト AIM



北九州テクノセンター



北九州市立起業家支援工場



北九州学術研究都市 産学連携施設(事業化支援センター)

◎ベンチャー企業への集中支援

インキュベーションマネージャーが専門家とも連携して、インキュベーション施設の入居企業に対し、

- ①経営ノウハウの提供、各種支援メニューの紹介
- ②経営力・技術力向上に向けた各種相談・セミナー等の実施
- ③ベンチャー企業が開発した商品・サービスの販路開拓支援などの支援を行い、売上等の増加に繋げています。

◎北九州ベンチャーイノベーションクラブ(通称:KVIC)の運営

北九州市の新産業および雇用の創出に向けて、ベンチャー企業支援ネットワーク『北九州ベンチャーイノベーションクラブ』を運営し、ビジネスマッチングなどの事業を展開しています。



KVICフェア

評議員名簿

(平成28年6月22日現在)

五十音順

氏名	役職名
牛島 英典	福岡県商工部新産業振興課長
梅本 和秀	北九州市副市長
奥田 俊博	九州共立大学長
坂本 満	産業技術総合研究所九州センター所長
自見 榮祐	(一社) 北九州中小企業団体連合会会長
塚本 寛	北九州工業高等専門学校長
西原 達次	九州歯科大学長
東 敏昭	産業医科大学長
松本 豊	(公社) 九州機械工業振興会会長

役員名簿

(平成28年6月22日現在)

五十音順

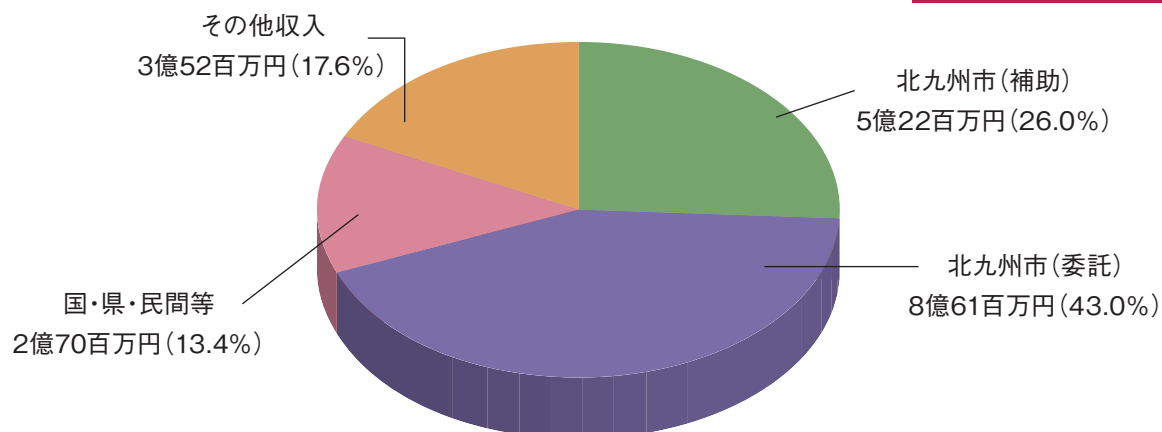
役員の種類	氏名	役職名
理 事 長	松永 守央	(公財) 北九州産業学術推進機構
副理事長	重松 崇	(公財) 北九州産業学術推進機構
専務理事	松岡 俊和	(公財) 北九州産業学術推進機構
理 事	梶原 昭博	北九州市立大学副学長
//	利島 康司	北九州商工会議所会頭
//	富高 紳夫	北九州市産業経済局企業立地・食ブランド推進担当理事
//	橋本 周司	早稲田大学副総長
//	早瀬 修二	九州工業大学副学長
監 事	定野 敏彦	(株) 西日本シティ銀行取締役常務執行役員北九州総本部長
//	松原 英治	北九州市会計室長

平成27年度 決算資料

収入および支出内訳

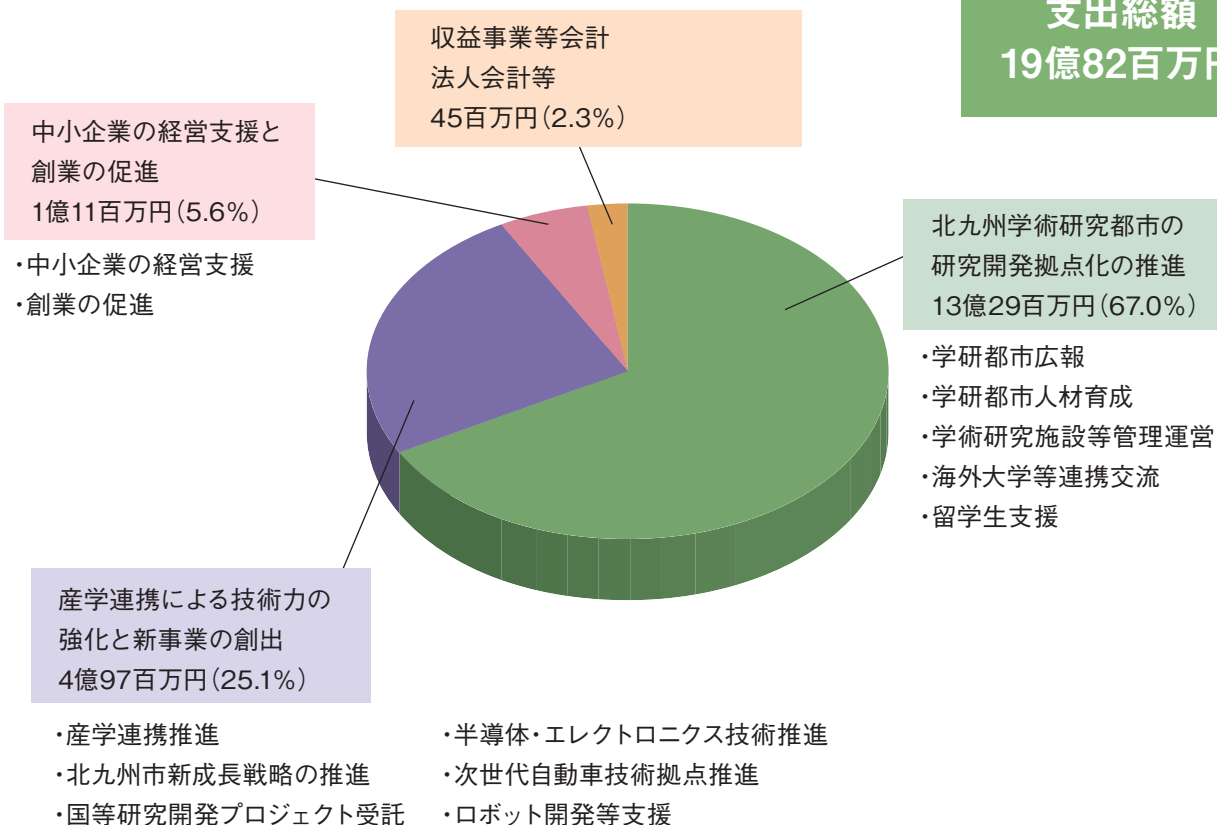
<収入>

収入総額
20億5百万円



<支出>

支出総額
19億82百万円



貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位: 円)

科目	平成27年度	平成26年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	484,201,734	245,266,324	238,935,410
未収金	260,877,208	323,294,490	△ 62,417,282
流動資産合計	745,078,942	568,560,814	176,518,128
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	198,898,278	198,898,278	0
普通預金	101,722	434,722	△ 333,000
定期預金	1,000,000	667,000	333,000
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
留学生支援事業積立資産	2,805,649	6,811,966	△ 4,006,317
学研都市充実強化積立資産	9,636,411	9,636,411	0
特定プロジェクト支援積立資産	28,039,788	28,039,788	0
特定資産合計	40,481,848	44,488,165	△ 4,006,317
(3) その他固定資産			
車両運搬具	132,400	332,800	△ 200,400
機械設備	45,968,998	81,694,879	△ 35,725,881
什器備品	35,388,198	7,638,233	27,749,965
無形固定資産	87,803,248	112,111,068	△ 24,307,820
リース資産	457,800	1,144,500	△ 686,700
電話加入権	1,000	1,000	0
長期未収金	230,202		230,202
貸倒引当金	△ 115,101		△ 115,101
その他固定資産合計	169,866,745	202,922,480	△ 33,055,735
固定資産合計	410,348,593	447,410,645	△ 37,062,052
資産合計	1,155,427,535	1,015,971,459	139,456,076
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	291,101,120	257,068,497	34,032,623
前受金	121,158,613	3,000	121,155,613
預り金	5,492,814	6,503,520	△ 1,010,706
流動負債合計	417,752,547	263,575,017	154,177,530
2. 固定負債			
長期リース債務	457,800	1,144,500	△ 686,700
固定負債合計	457,800	1,144,500	△ 686,700
負債合計	418,210,347	264,719,517	153,490,830
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
北九州市補助金	50,406,060	45,574,904	4,831,156
国庫補助金	12,817,704		12,817,704
その他補助金	3,645,000		3,645,000
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産合計	266,868,764	245,574,904	21,293,860
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	0
2. 一般正味財産	470,348,424	505,677,038	△ 35,328,614
(うち特定財産への充当額)	(40,481,848)	(44,488,165)	(△ 4,006,317)
正味財産合計	737,217,188	751,251,942	△ 14,034,754
負債及び正味財産合計	1,155,427,535	1,015,971,459	139,456,076

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科目	平成27年度	平成26年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	616,619	1,568,948	△ 952,329
②事業収益			
北九州市受託事業収益	861,195,987	883,726,440	△ 22,530,453
国受託事業収益	41,329,258	75,895,803	△ 34,566,545
その他受託事業収益	154,627,549	193,077,387	△ 38,449,838
T L Oライセンス事業収益	2,506,976	7,290,235	△ 4,783,259
その他事業収益	334,766,811	344,351,184	△ 9,584,373
収益事業等会計収益	19,459,668	18,750,213	709,455
③受取補助金等			
受取北九州市補助金	504,884,926	545,863,108	△ 40,978,182
受取福岡県補助金	1,452,516	1,078,450	374,066
受取国庫補助金	29,999,420	44,531,039	△ 14,531,619
受取その他補助金	7,009,229	8,622,264	△ 1,613,035
受取補助金等振替額	13,663,041		13,663,041
④受取寄付金			
受取寄付金	1,320,000	960,000	360,000
⑤雑収益			
受取利息	436,164	2,026,321	△ 1,590,157
雑収益	612,306	1,006,683	△ 394,377
経常収益計	1,973,880,470	2,128,748,075	△ 154,867,605
(2) 経常費用			
①事業費			
役員報酬	13,163,948	13,142,100	21,848
給与	240,101,000	255,513,680	△ 15,412,680
福利厚生費	49,572,132	53,819,326	△ 4,247,194
会議費	1,002,733	867,503	135,230
渉外費	668,279	791,192	△ 122,913
旅費交通費	24,229,155	20,092,483	4,136,672
通信運搬費	13,972,825	11,589,768	2,383,057
減価償却費	56,320,199	22,645,772	33,674,427
消耗品費	15,911,063	21,307,931	△ 5,396,868
修繕費	52,573,295	63,865,383	△ 11,292,088
印刷製本費	1,990,633	1,886,824	103,809
新聞図書費	3,999,989	4,776,512	△ 776,523
燃料費	312,888	425,233	△ 112,345
光熱水費	224,182,394	251,195,957	△ 27,013,563
賃借料	167,054,378	162,086,245	4,968,133
保険料	1,577,340	1,333,189	244,151
諸謝金	45,119,367	43,447,839	1,671,528
租税公課	15,465,965	15,264,369	201,596
委託費	792,349,620	886,018,910	△ 93,669,290
支払負担金	97,344,846	88,270,051	9,074,795
支払助成金	133,353,387	178,352,573	△ 44,999,186
ライセンス料	1,275,253	2,094,777	△ 819,524
支払手数料	1,208,847	990,944	217,903
奨学金	14,520,000	15,060,000	△ 540,000
雑費	217,727	1,630,332	△ 1,412,605
貸倒引当金繰入額	115,101		115,101

科目	平成27年度	平成26年度	増減
②管理費			
役員報酬	4,387,982	4,380,700	7,282
給与	6,923,955	6,723,602	200,353
福利厚生費	1,166,870	1,052,108	114,762
会議費	40,918	42,506	△ 1,588
渉外費	20,400	26,006	△ 5,606
旅費交通費	1,688,330	1,461,420	226,910
通信運搬費	180,113	152,421	27,692
減価償却費	1,045,431	1,130,800	△ 85,369
消耗品費	690,917	505,287	185,630
修繕費	2,700	74,000	△ 71,300
印刷製本費	204,768	204,120	648
新聞図書費	310,100	291,822	18,278
燃料費	309,992	462,030	△ 152,038
光熱水費	68,882	76,343	△ 7,461
賃借料	2,631,018	3,582,785	△ 951,767
保険料	176,410	190,460	△ 14,050
諸謝金	868,630	488,400	380,230
租税公課	△ 6,065	△ 11,869	5,804
委託費	1,208,174	1,705,132	△ 496,958
支払負担金	740,630	679,390	61,240
支払手数料	719,946	796,542	△ 76,596
雑費	3,500	5,450	△ 1,950
経常費用計	1,990,985,965	2,140,488,348	△ 149,502,383
当期経常増減額	△ 17,105,495	△ 11,740,273	△ 5,365,222
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①固定資産売却益			
什器備品売却益	64,800		64,800
②固定資産受贈益			
機械設備受贈益		84,503,162	△ 84,503,162
③受取寄付金振替額			
受取寄付金振替額		600,000,000	△ 600,000,000
経常外収益計	64,800	684,503,162	△ 684,438,362
(2) 経常外費用			
①除却損失			
什器備品除却損	1,079,906	22,217	1,057,689
無形固定資産除却損	15,823,513	14,829,183	994,330
②支払寄付金			
支払寄付金		600,000,000	△ 600,000,000
経常外費用計	16,903,419	614,851,400	△ 597,947,981
当期経常外増減額	△ 16,838,619	69,651,762	△ 86,490,381
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 33,944,114	57,911,489	△ 91,855,603
法人税・住民税及び事業税	1,384,500	1,145,000	239,500
当期一般正味財産増減額	△ 35,328,614	56,766,489	△ 92,095,103
一般正味財産期首残高	505,677,038	448,910,549	56,766,489
一般正味財産期末残高	470,348,424	505,677,038	△ 35,328,614
II 指定正味財産増減の部			
受取北九州市補助金	16,790,581	13,934,093	2,856,488
受取国庫補助金	13,792,320		13,792,320
受取その他補助金	4,374,000		4,374,000
基本財産受取利息	616,619	1,568,948	△ 952,329
一般正味財産への振替額	△ 14,279,660	△ 607,702,279	593,422,619
当期指定正味財産増減額	21,293,860	△ 592,199,238	613,493,098
指定正味財産期首残高	245,574,904	837,774,142	△ 592,199,238
指定正味財産期末残高	266,868,764	245,574,904	21,293,860
III 正味財産期末残高	737,217,188	751,251,942	△ 14,034,754

アクセスマップ

北九州学術研究都市

●キャンパス運営センター

●産学連携統括センター

ものづくり革新センター

半導体・エレクトロニクス技術センター

自動車技術センター

ロボット技術センター

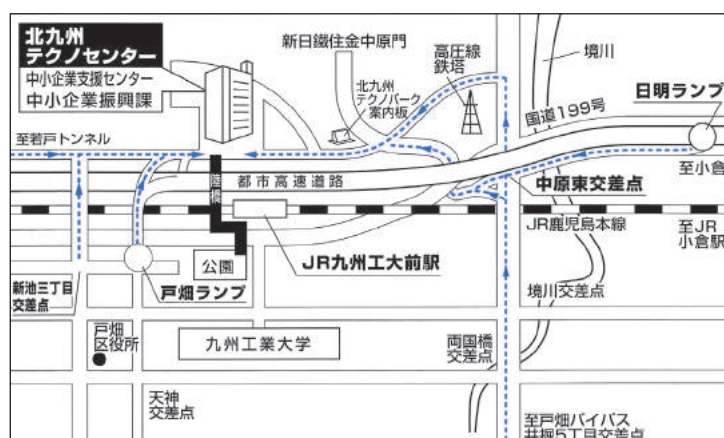


- 【公共交通機関の場合】
- JR折尾駅西口バス停 → 市営バス → 学研都市ひびきの ※所要時間約15分
 - JR黒崎駅バス停 → 市営バス・西鉄バス → 学研都市ひびきの ※所要時間約30分
 - 北九州空港バス停 → 市営バス → 学研都市ひびきの ※所要時間約80分
- 【車をご利用の場合】
- 北九州都市高速道路 黒崎出入口 ※北九州都市高速道路黒崎出入口からの所要時間約20分
 - 小倉都心 → 北九州都市高速道路 東田出入口 → 黒崎バイパス 皇后崎ランプ → 学研都市ひびきの ※所用時間小倉都心から約30分

北九州テクノセンタービル

●中小企業支援センター

中小企業・ベンチャー支援部経営支援課

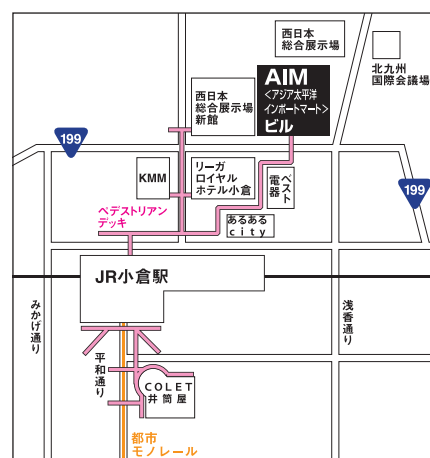


- JR九州工大前駅下車北側へ徒歩3分
- 小倉方面から
国道199号中原東交差点よりテクノパークへ入る
- 戸畑方面から
北九州都市高速戸畑ランプへ向かってJR線をまたぐ高架を上り、料金所直前で左折してテクノパークへ入る（一方通行）

アジア太平洋インポートマート(AIM)

●中小企業支援センター

中小企業・ベンチャー支援部ベンチャー支援課



- JR小倉駅・北九州モノレール小倉駅から
徒歩5分(ペDESTリアンデッキでウォークイン)
- 北九州空港から:車で約30分、エアポートバスで55分
- 北九州都市高速道路:小倉駅北ランプから車で3分
- 福岡空港から:地下鉄、新幹線で40分



ご連絡・お問い合わせは 公益財団法人 北九州産業学術推進機構 (FAIS) の各センターへ

【北九州学術研究都市ホームページ】 <http://www.ksrp.or.jp/>

【公益財団法人 北九州産業学術推進機構 (FAIS) ホームページ】 <http://www.ksrp.or.jp/faiss/>

北九州学術研究都市に関する全般的なお問い合わせ		E-mail / info@ksrp.or.jp
キャンパス運営センター	北九州学術研究都市内 産学連携センタービル1階 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1	TEL 093-695-3111 FAX 093-695-3010
大学の研究内容の活用、産学連携に関するお問い合わせ		E-mail / iac@ksrp.or.jp
産学連携統括センター	北九州学術研究都市内 産学連携センタービル2階 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1	TEL 093-695-3006 FAX 093-695-3018
「革新的ものづくり」活動の支援、その他研究開発プロジェクト等に関するお問い合わせ		E-mail / iac@ksrp.or.jp
ものづくり革新センター	北九州学術研究都市内 産学連携センタービル2階 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1	TEL 093-695-3006 FAX 093-695-3018
半導体関連の研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ		E-mail / sec@ksrp.or.jp
半導体・エレクトロニクス技術センター	北九州学術研究都市内 技術開発交流センター1階 〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北1-103	TEL 093-695-3007 FAX 093-695-3667
自動車分野における研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ		E-mail / car@ksrp.or.jp
自動車技術センター	北九州学術研究都市内 技術開発交流センター1階 〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北1-103	TEL 093-695-3685 FAX 093-695-3686
ロボット分野の研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ		E-mail / robotics@ksrp.or.jp
ロボット技術センター	北九州学術研究都市内 技術開発交流センター1階 〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北1-103	TEL 093-695-3085 FAX 093-695-3525
中小企業の経営、創業に関するお問い合わせ		E-mail / k_info@ksrp.or.jp
中小企業支援センター	北九州テクノセンタービル1階	TEL 093-873-1430
中小企業・ベンチャー支援部経営支援課	〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町2-1	FAX 093-873-1450
中小企業・ベンチャー支援部ベンチャー支援課	AIM (アジア太平洋インポートマート) ビル6階 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3-8-1	TEL 093-513-5300 FAX 093-513-5323